



## **Cisco Unified IP Phone 7975G/7971G-GE/7970G/7965G/7945G ユーザガイド for Cisco Unified Communications Manager 9.0 (SCCP および SIP)**

初版：2012年1月1日

最終更新：2012年6月18日

### **シスコシステムズ合同会社**

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

**FCC クラス A 準拠装置に関する記述：**この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

**FCC クラス B 準拠装置に関する記述：**この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。干渉しているかどうかは、装置の電源のオン/オフによって判断できます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します。
- 装置と受信機との距離を離します。
- 受信機と別の回路にあるコンセントに装置を接続します。
- 販売業者またはラジオやテレビに詳しい技術者に連絡します。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認ください。記載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。



## 目次

### はじめに **xiii**

概要 **xiii**

追加情報 **xiv**

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ e-ラーニング チュートリアル **xv**

安全性と性能に関する情報 **xv**

停電 **xv**

外部デバイス **xv**

シスコ製品のセキュリティ **xvi**

アクセシビリティ機能 **xvi**

### 電話機の機能 **1**

ボタンとハードウェア **1**

Cisco Unified IP Phone 7975G のボタンとハードウェア **2**

Cisco Unified IP Phone 7970G/7971G-GE のボタンおよびハードウェア **2**

Cisco Unified IP Phone 7965G のボタンとハードウェア **3**

Cisco Unified IP Phone 7945G のボタンとハードウェア **3**

ボタンおよびハードウェアの ID **4**

回線とコールの定義 **6**

回線およびコールのアイコン **7**

電話スクリーンの機能 **8**

電話スクリーンの動作 **9**

電話スクリーンのクリーニングとメンテナンス **9**

Cisco Unified IP Phone 7970G/7971G-GE/7975G のクリーニングとメンテナンス **10**

Cisco Unified IP Phone 7945G/7965G のクリーニングとメンテナンス **10**

機能ボタンとメニューについて **11**

電話機のヘルプ システム **11**

機能のアクセシビリティ **12**

SIP および SCCP シグナリング プロトコル	13
電力の節約	14
電話機の設置	15
Cisco Unified IP Phone のケーブルの設置	15
フックスイッチクリップの取り外し (必須)	16
ハンドセット受け台の調整	17
フットスタンドの調節	17
TAPS 登録	18
ヘッドセット	18
ヘッドセットのサポート	18
音声品質	19
電話機のケーブルロック	19
Cisco Unified IP Phone 7945G/7965G/7975G のケーブルロック	19
Cisco Unified IP Phone 7970G/7971G-GE のケーブルロック	20
コール機能	21
基本的なコール操作	21
コールの発信	22
スピーカフォンを使用したコールの発信	22
ヘッドセットを使用したコールの発信	23
番号のリダイヤル	23
別のコールがアクティブなときのコールの発信 (同じ回線を使用)	23
通話履歴からのダイヤル	23
その他のコール オプション	24
別のコールがアクティブなときのコールの発信 (異なる回線を使用)	24
スピードダイヤル コール	25
電話機の社内ディレクトリからのダイヤル	25
Cisco WebDialer を使用したパーソナルコンピュータの社内ディレクトリからのダイヤル	25
ビジイーまたは呼び出し中の内線が使用可能になったときの通知 (折返し)	26
プライオリティ (Precedence) コール	26
個人アドレス帳 (PAB) のエン트리へのダイヤル	26
課金またはトラッキング コードを使用したコール	26

モバイル ボイス アクセスを使用した携帯電話からのコールの発信	27
ファスト ダイヤル コール の発信	27
個人アドレス帳 (PAB) のエントリへのダイヤル	28
コールへの応答	28
コールの切断	29
保留と再開	30
コールの保留	31
異なる回線での保留の解除	31
ミュート	31
コールのミュートまたはミュート解除	32
複数のコール	32
同じ回線で接続されているコール間の切り替え	32
異なる回線で接続されているコール間の切り替え	32
呼び出し中のコールに回答するための接続コールからの切り替え	33
現在の回線での保留の解除	33
別の回線のコールの表示	33
コールの概要モードへの切り替え	34
進行中のコールの移動	34
進行中のコールのデスクの電話機から携帯電話への切り替え	34
携帯電話からデスクの電話機への進行中のコールの切り替え	34
進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有するデスクの電話機への切り替え (セッションハンドオフ)	35
コール転送	35
転送先の相手と会話しないコール転送	36
転送先の相手と会話してからコールの転送 (打診転送)	36
ボイス メッセージ システムへのコールの転送	36
アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールのボイス メッセージ システムへの 送信	37
コール転送	37
電話機からの不在転送の設定およびキャンセル	38
コール転送の設定またはキャンセル	38
サイレント	39

DND のオンおよびオフの切り替え	39
サイレント設定のセットアップ	39
電話会議	40
アドホック会議	40
参加者へのコールの発信による会議の開催	41
会議への新しい参加者の追加	41
会議への参加	41
単一電話回線の既存コールの結合	42
複数の電話回線の既存コールの結合	42
会議への割り込み	42
共有回線へのコールの割り込みによる会議の開催	43
ミーティング会議	43
ミーティング会議の開催	43
ミーティング会議への参加	44
会議の参加者リスト	44
参加者リストを使用した会議の制御	44
電話会議のセキュリティの確認	45
インターコム コール	45
事前定義されたインターコム番号へのインターコム コールの発信	46
任意のインターコム番号へのインターコム コールの発信	46
インターコム コールの受信	46
応用的なコール処理	47
スピードダイヤル	47
スピードダイヤル ボタンを使用したコールの発信	47
オンフック短縮ダイヤルを使用したコールの発信	48
ファストダイヤルを使用したコールの発信	48
コール ピックアップ	48
コールピックアップグループ内の別の内線で呼出音が鳴っているコールへの 応答	49
コール ピックアップ グループ外の別の内線の呼び出し中コールへの応答	49
グループまたは関連グループ内の別の内線での呼び出し中コールへの応答	49
特定の内線（回線番号）で呼び出し中のコールへの応答	50

コールパーク	50
コールパークを使用したアクティブ コールの保存および受け取り	51
アクティブなコールのダイレクトコールパーク番号への転送および保存	51
ダイレクトコールパーク番号からのパークされたコールの取得	51
アクティブなコールの処理されたダイレクトコールパーク番号への転送、保存、取得	52
ハントグループ	52
ハントグループのログインおよびログアウト	52
共有回線	53
リモートで使用中のアイコン	53
コール情報と割り込み	53
プライバシー	53
割り込み、C 割り込み、および共有回線	53
ワンボタンまたはマルチタッチ割り込み	54
割り込み機能	54
プライバシーおよび共有回線	55
他者による共有回線のコールの表示およびコールへの割り込みの許可	55
ビジー ランプ フィールド機能	56
BLF ピックアップを使用した呼び出し中のコールへの応答	57
セキュアなコール	57
VPN クライアント	59
不審なコールのトレース	60
不審なコールまたは嫌がらせのコール受信のシステム管理者への通知	60
プライオリティ コール	60
Cisco エクステンション モビリティ	62
EM へのログイン	63
EM からのログアウト	63
[クレデンシャルの変更] サービスを使用した PIN の変更	63
[PIN の変更] ソフトキーを使用した PIN の変更	64
1 つの電話番号を使用したビジネス コール	64
モバイル コネクトおよびモバイル ボイス アクセス	64
携帯電話で応答したコールの保留	65

モバイル ボイス アクセスへの接続	66
携帯電話からのモバイル コネクトの有効化	66
携帯電話からのモバイル コネクトの無効化	66
すべてのリモート接続先へのモバイルコネクトアクセスのデスクトップ電話機での有効化または無効化	67
<b>ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォン</b>	<b>69</b>
ハンドセット	69
ヘッドセット	70
有線ヘッドセットの側音の制御	70
ワイヤレス ヘッドセット	71
ワイドバンドヘッドセット	71
スピーカフォン	72
ヘッドセットまたはスピーカフォンを使用した自動応答	72
<b>電話機のカスタマイズ</b>	<b>75</b>
呼出音とメッセージインジケータのカスタマイズ	75
回線ごとの呼出音の変更	76
電話機の音量レベルの調整	76
呼出音のパターン（点滅のみ、一度だけ鳴らす、ビープ音のみ）の変更	76
オーディオ ボイス メッセージ インジケータの変更	77
ハンドセットのボイス メッセージ ランプの動作の変更	77
電話スクリーンのカスタマイズ	77
電話スクリーンの明るさの変更	78
背景画像の変更	78
電話スクリーンの言語の変更	78
回線テキスト ラベルの変更	79
電話スクリーンの表示角度の調節	79
<b>通話履歴とディレクトリ</b>	<b>81</b>
通話履歴	81
通話履歴の表示	82
1つのコール レコードの詳細表示	82
すべての履歴からすべてのコール レコードの消去	83
1つの履歴からすべてのコール レコードの消去	83



1つのコールレコードの削除	83
通話履歴からのダイヤル（別のコールに接続していない状態）	84
通話履歴からのダイヤル（別のコールに接続した状態）	84
通話履歴内の URL エントリからのコールの発信	85
不在履歴および着信履歴からの国際コールのリダイヤル	86
ディレクトリ機能	86
社内ディレクトリ	86
社内ディレクトリからのダイヤル（別のコールに接続していない状態）	87
社内ディレクトリからのダイヤル（別のコールに接続している状態）	87
パーソナルディレクトリ	88
パーソナルディレクトリへのアクセス（PABおよびファストダイヤルコードの検索のため）	88
PAB エントリの検索	89
PAB エントリからのダイヤル	89
PAB エントリの削除	89
PAB エントリの編集	90
新規 PAB エントリの追加	90
PAB エントリへのファストダイヤルコードの割り当て	90
ファストダイヤルコードの追加（PAB エントリを使用しない）	91
ファストダイヤルコードの検索	91
ファストダイヤルコードを使用したコールの発信	91
ファストダイヤルコードの削除	92
パーソナルディレクトリからのログアウト	92
ボイスメッセージ	93
ボイスメッセージへのアクセス	93
ボイスメッセージサービスの個人設定	94
ボイスメッセージの確認またはボイスメッセージメニューへのアクセス	94
ユーザオプション Web ページ	95
ユーザオプション Web ページの操作	95
ユーザオプション Web ページへのログイン、ログアウト	95
ユーザオプション Web ページでのデバイスの選択	96
ログイン後の設定オプションの選択	96

Web での機能およびサービスの設定	97
Web でのパーソナルディレクトリ	97
個人アドレス帳エントリの新規追加	97
ボタンへの個人アドレス帳の割り当て	98
個人アドレス帳エントリの検索	98
個人アドレス帳エントリの編集	98
個人アドレス帳エントリの削除	99
Web でのファストダイヤル	99
個人アドレス帳エントリへのファストダイヤルコードの割り当て	100
電話番号へのファストダイヤルコードの割り当て	100
回線ボタンのファストダイヤルへの割り当て	100
ファストダイヤルエントリの検索	101
ファストダイヤル電話番号の編集	101
個人アドレス帳のファストダイヤルエントリの削除	102
アドレス帳同期ツール	102
Web でのスピードダイヤルの設定	102
スピードダイヤルボタンの設定	103
短縮ダイヤルコードの設定	103
Web での電話機サービスの設定	103
サービスへの登録	104
サービスの検索	104
サービスの変更または解除	105
サービス名の変更	105
プログラマブル機能ボタンへのサービスの追加	105
Web でのユーザ設定	106
ブラウザのパスワードの変更	106
PIN の変更	106
ユーザ オプション Web ページの言語設定の変更	107
電話機のディスプレイの言語の変更	107
Web での回線設定	107
回線ごとのコール転送の設定	108
回線ごとのボイスメッセージインジケータ設定の変更	108

回線ごとのオーディオ ボイス メッセージ インジケータの設定変更	109
電話スクリーンに表示される回線テキスト ラベルの変更または作成	109
モバイル コネクト用の電話機およびアクセス リストの設定	109
アクセス リストの作成	110
新しいリモート接続先の追加	110
Cisco WebDialer	111
ユーザ オプション ディレクトリでの WebDialer の使用	112
別のオンライン社内ディレクトリ (ユーザのユーザ オプション ディレクトリで はないもの) での WebDialer の使用	112
WebDialer からのログアウト	112
WebDialer の初期設定の設定、表示、または変更	113
その他のオプション	115
一部の設定オプションの概要	115
トラブルシューティング	119
問題	119
ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを完了できない	119
ソフトキーが表示されない	120
割り込みが不可能で速いビジー音が聞こえる	120
割り込み後のコールの切断	121
折返しが使用できない	121
すべてのコールの転送エラー メッセージ	121
電話機が反応しない	122
セキュリティ エラー メッセージ	122
設定メニューにアクセスできない	122
電話スクリーンが点灯しない	123
電話機のトラブルシューティング データ	123
品質レポート ツール	123
保証	125
シスコ製品 (ハードウェア) に関する 1 年間の限定保証規定	125





## はじめに

『Cisco Unified IP Phone 7975G/7971G-GE/7970G/7965G/7945G ユーザガイド for Cisco Unified Communications Manager 9.0 (SCCP および SIP)』では、Cisco Unified IP Phone 7945G/7965G/7970G/7971G-GE/7975G の設置および使用方法について説明します。

- [概要, xiii ページ](#)
- [追加情報, xiv ページ](#)
- [Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ e-ラーニング チュートリアル, xv ページ](#)
- [安全性と性能に関する情報, xv ページ](#)
- [シスコ製品のセキュリティ, xvi ページ](#)
- [アクセシビリティ機能, xvi ページ](#)

## 概要

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。本書をよく読み、電話機の機能について十分に理解してください。また、次の表はよく使用する項へのポインタとして参照してください。

目的	操作
電話機について調べる	不明な点があるときは、 <a href="#">?</a> を押してください。
安全情報を参照する	「 <a href="#">安全性と性能に関する情報</a> 」を参照してください。
電話機を接続する	詳細については、 <a href="#">電話機の設置, (15 ページ)</a> を参照してください。
設置後に電話機を使用する	詳細については、 <a href="#">電話機の機能, (1 ページ)</a> を参照してください。

目的	操作
ボタン ライトの意味を調べる	詳細については、 <a href="#">ボタンとハードウェア</a> 、(1 ページ) を参照してください。
電話スクリーンについて調べる	詳細については、 <a href="#">電話スクリーンの機能</a> 、(8 ページ) を参照してください。
コールを発信する	詳細については、 <a href="#">基本的なコール操作</a> 、(21 ページ) を参照してください。
コールを保留にする	詳細については、 <a href="#">保留と再開</a> 、(30 ページ) を参照してください。
ミュートにする	「 <a href="#">ミュート</a> 」を参照してください。
コールを転送する	詳細については、 <a href="#">コール転送</a> 、(35 ページ) を参照してください。
会議コールを発信する	詳細については、 <a href="#">電話会議</a> 、(40 ページ) を参照してください。
スピードダイヤルを設定する	詳細については、 <a href="#">スピードダイヤル</a> 、(47 ページ) を参照してください。
電話番号を共有する	詳細については、 <a href="#">共有回線</a> 、(53 ページ) を参照してください。
電話機をスピーカフォンとして使用する	詳細については、 <a href="#">ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォン</a> 、(69 ページ) を参照してください。
呼び出しの音量やトーンを変更する	詳細については、 <a href="#">電話機のカスタマイズ</a> 、(75 ページ) を参照してください。
不在履歴を表示する	「 <a href="#">通話履歴</a> 」を参照してください。
ボイス メッセージを聞く	詳細については、 <a href="#">ボイス メッセージへのアクセス</a> 、(93 ページ) を参照してください。

## 追加情報

次の URL からシスコ製品の最新資料を入手することができます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html)

次の URL で Cisco Web サイトにアクセスできます。

<http://www.cisco.com/>

最新のライセンス情報については、次の URL にアクセスしてください。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cuipph/all\\_models/openssl\\_license/7900\\_ssllic.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cuipph/all_models/openssl_license/7900_ssllic.html)

# Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ e-ラーニング チュートリアル

(SCCP 電話機のみ)。

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズの e-ラーニング チュートリアルでは、音声とアニメーションにより基本的なコール機能が説明されています。いくつかの電話機のモデルでは、ご使用のパーソナルコンピュータから e-ラーニング チュートリアルにオンラインでアクセスできます。ご使用の電話機のモデルの e-ラーニング チュートリアル (英語のみ) を探すには、次の URL でマニュアルの一覧を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html)



(注) e-ラーニング チュートリアルは一部の Cisco Unified IP Phone では用意されていない場合があります。ただし、Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズの e-ラーニング チュートリアルを参照すると、Cisco Unified IP Phone に共通する機能の概要を学ぶことができます。

## 安全性と性能に関する情報

次の項では、停電および外部デバイスがご使用の Cisco Unified IP Phone に与える影響について説明します。

### 停電

電話機で緊急サービスを利用できるかどうかは、電話機に電源が供給されているかどうかによります。停電が発生した場合、電源が回復するまで、利用および緊急コールサービスへのダイヤルは機能しません。電源の異常や障害が発生した場合は、サービスおよび緊急コールサービスのダイヤル前に、装置をリセットまたは再設定する必要があります。

### 外部デバイス

シスコでは、不要な無線周波数 (RF) および可聴周波数 (AF) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど)、ケーブル、コネクタの使用を推奨しています。

これらデバイスの品質および携帯電話や送受信兼用無線機などの他のデバイスとの近さによっては、まだ雑音が生じることがあります。そのような場合、シスコは次の対策の1つ以上を講じることを推奨します。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、高品質なシールドおよびコネクタを備えたケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイス用のケーブル上にフェライトまたはその他類似のデバイスを使用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタの性能は保証できません。



注意

EU 諸国では、EMC 指令 [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットのみを使用してください。

## シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、次の URL を参照してください。

[http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear\\_data.html](http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html)

## アクセシビリティ機能

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズは、視覚、聴覚、および運動が不自由な方向けにアクセシビリティ機能を用意しています。

これらの電話の詳細については、「[Accessibility Features for the Cisco Unified IP Phone 7900 Series](#)」を参照してください。

アクセシビリティの詳細については、シスコの Web サイトを参照してください。

<http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html>





# 第 1 章

## 電話機の機能

Cisco Unified IP Phone は、コンピュータで使用するデータ ネットワークを介して音声通信を行うためのすべての機能を搭載した電話機であり、コールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

Cisco Unified IP Phone では、基本的なコール処理機能に加え、コール処理機能を拡張する生産性向上機能が用意されています。設定に応じて、次がサポートされます。

- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス。
- 電話機能のオンライン カスタマイズおよび Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページからのサービス。
- 電話スクリーンに情報を表示する包括的なオンライン ヘルプ システム。

この章は、次の内容で構成されています。

- [ボタンとハードウェア, 1 ページ](#)
- [回線とコールの定義, 6 ページ](#)
- [電話スクリーンの機能, 8 ページ](#)
- [機能ボタンとメニューについて, 11 ページ](#)
- [機能の可用性, 12 ページ](#)
- [SIP および SCCP シグナリング プロトコル, 13 ページ](#)
- [電力の節約, 14 ページ](#)

## ボタンとハードウェア

この項では、電話機のボタンとハードウェアについて説明します。

## Cisco Unified IP Phone 7975G のボタンとハードウェア

次の図は、電話機の重要な部品を示しています。番号付きの項目の詳細については、[ボタンおよびハードウェアの ID](#)、(4 ページ) を参照してください。



## Cisco Unified IP Phone 7970G/7971G-GE のボタンおよびハードウェア

次の図は、電話機の重要な部品を示しています。番号付きの項目の詳細については、[ボタンおよびハードウェアの ID](#)、(4 ページ) を参照してください。



## Cisco Unified IP Phone 7965G のボタンとハードウェア

次の図は、電話機の重要な部品を示しています。番号付きの項目の詳細については、[ボタンおよびハードウェアの ID](#)、(4 ページ) を参照してください。



## Cisco Unified IP Phone 7945G のボタンとハードウェア







次の図は、電話機の重要な部品を示しています。番号付きの項目の詳細については、[ボタンおよびハードウェアの ID](#)、(4 ページ) を参照してください。






















## ボタンおよびハードウェアの ID

次の表に、電話機のボタンとハードウェアを示します。

表 1: 電話機のボタンとハードウェア


	アイテム	説明
1	プログラマブル ボタン 	<p>設定内容に応じて、プログラマブルボタンを使って次の項目にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話回線（回線ボタン）とインターコム回線</li> <li>• スピードダイヤル番号（スピードダイヤルボタン、ビジーランプフィールド（BLF）スピードダイヤル機能を含む）</li> <li>• Web ベースのサービス（個人アドレス帳ボタンなど）</li> <li>• コール機能（プライバシー、保留、転送のボタンなど）</li> </ul> <p>ボタンは次のようにステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•  緑、点灯：アクティブ コールまたは双方向のインターコム コール</li> <li>•  緑、点滅：保留中のコール</li> <li>•  オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中、一方向のインターコム コール、サイレント（DND）がアクティブ、またはハントグループにログイン中</li> <li>•  オレンジ、点滅：着信コールまたは復帰コール</li> <li>•  赤、点灯：リモート回線が使用中（共有回線、BLF の状態またはアクティブなモバイル コネクト コール）</li> </ul>
2	フットスタンド ボタン	電話機本体の角度を調節できます。

	アイテム	説明
3	ディスプレイ ボタン 	<p><b>Cisco Unified IP Phone 7970G/7971G-GE/7975G</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話スクリーンをスリープモードから復帰させます。または、クリーニングのためタッチスクリーン機能を無効にします。</li> <li> 無色：入力可能な状態</li> <li> 緑、点滅：無効</li> <li> 緑、点灯：スリープモード</li> </ul> <p><b>Cisco Unified IP Phone 7945G/7965G</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話スクリーンをスリープモードから復帰させます。</li> <li> 無色：入力可能な状態</li> <li> 緑、点灯：スリープモード</li> </ul>
4	メッセージ ボタン 	ボイスメッセージサービスに自動ダイヤルします（サービスに応じて異なります）
5	ディレクトリ ボタン 	[ディレクトリ]メニューを開閉します。このボタンを使用して、通話履歴およびディレクトリにアクセスします。
6	ヘルプ ボタン 	ヘルプメニューを有効にします。
7	設定ボタン 	設定メニューを開閉します。このボタンを使用して、電話スクリーンおよび呼出音の設定を変更します。
8	サービス ボタン 	サービスメニューを開閉します。
9	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を調節します。
10	スピーカ ボタン 	スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンをオンにすると、ボタンが点灯します。
11	ミュート ボタン 	マイクロフォンモードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているときは、ボタンが点灯します。
12	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。

	アイテム	説明
13	4方向ナビゲーションパッドと選択ボタン (中央) 	<b>Cisco Unified IP Phone 7945G/7965G-GE/7975G</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>メニューのスクロールや項目の強調表示に使用できます。選択ボタンを使用して、スクリーン上で強調表示された項目を選択します。</li> <li>ナビゲーションボタン：上下にスクロールすると、メニューを表示し、項目を強調表示できます。左右にスクロールすると、複数の列にまたがって表示できます。</li> <li>選択ボタン：ナビゲーションボタンを使用してスクロールし、行を強調表示します。を押してメニューを開き、呼出音を再生するか、スクリーンの表示にしたがって他の機能にアクセスします。</li> </ul>
14	ナビゲーションボタン 	<b>Cisco Unified IP Phone 7970G/7971G-GE</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>メニューのスクロールや項目の強調表示に使用できます。電話機がオンフックのとき、発信履歴ログに含まれる電話番号を表示します。</li> </ul>
15	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用できます。
16	ソフトキーボタン 	各ボタンは、電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。
17	ハンドセットのランプ	着信コールまたは新しいボイスメッセージがあることを示します。
18	電話スクリーン	電話機の機能を表示します。

## 回線とコールの定義

回線とコールは、混同しやすい用語です。

- 回線：各回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。お使いの電話機は最大6回線までサポートします。サポートされる回線数は電話機および設定によって異なります。電話機に割り当てられた回線の数は、電話スクリーンの右側で確認します。回線の数は、電話番号および電話回線アイコン  の数と同じです。
- コール：1本の回線で複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、電話機は1本の回線につき4つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。ある時点では1コールだけがアクティブになることができ、他のコールは自動的に保留になります。

## 回線およびコールのアイコン

電話機には、回線およびコールの状態を示すアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック回線	この回線にはコール アクティビティがありません。
	オフフック回線	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続済みコール	相手側に接続されています。
	コール呼出し中	回線の 1 つでコールの呼出音が鳴っています。
	保留	コールが保留されています。詳細については、 <a href="#">保留と再開</a> 、(30 ページ) を参照してください。
	リモート使用中	回線を共有している別の電話機にコールが接続されました。詳細については、 <a href="#">共有回線</a> 、(53 ページ) を参照してください。
	コールの復元中	保留コールが電話機に復帰しています。詳細については、 <a href="#">保留と再開</a> 、(30 ページ) を参照してください。
	認証済みコール	詳細については、 <a href="#">セキュアなコール</a> 、(57 ページ) を参照してください。
	暗号化済みコール	詳細については、 <a href="#">セキュアなコール</a> 、(57 ページ) を参照してください。
	BLF でモニタされた回線がアイドル状態	詳細については、 <a href="#">ビジーランプフィールド機能</a> 、(56 ページ) を参照してください。
	BLF でモニタされた回線が使用中	詳細については、 <a href="#">ビジーランプフィールド機能</a> 、(56 ページ) を参照してください。
	BLF でモニタされた回線が呼び出し中 (BLF ピックアップ)	詳細については、 <a href="#">ビジーランプフィールド機能</a> 、(56 ページ) を参照してください。
	サイレント状態の回線 (BLF 機能)	詳細については、 <a href="#">ビジーランプフィールド機能</a> 、(56 ページ) を参照してください。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	インターコム回線はアイドル状態	インターコム回線は使用されていません。「 <a href="#">インターコムコール</a> 」を参照してください。
	単方向のインターコムコール	インターコム回線は、単方向で音声を送受信しています。「 <a href="#">インターコムコール</a> 」を参照してください。
	双方向のインターコムコール	インターコム発信者との双方向オーディオをアクティブにするには、インターコム回線を押します。「 <a href="#">インターコムコール</a> 」を参照してください。

## 電話スクリーンの機能

次に、アクティブコールが発生しているときのメイン電話スクリーンの図を示します。



1	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号（ディレクトリ番号）を表示します。複数の機能タブが開いている場合は、電話番号、時刻、日付もここに表示されます。
2	プログラマブル ボタン	電話回線ボタン、インターコム回線ボタン、スピードダイヤルボタン、電話機サービスボタン、電話機の機能ボタンとして機能します。アイコンとラベルは、これらのボタンの設定状況を示します。詳細については、 <a href="#">回線およびコールのアイコン</a> 、(7 ページ) を参照してください。
3	ソフトキー ラベル	対応するソフトキー ボタンのソフトキー機能が表示されます。
4	ステータス行	オーディオモードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。



5	コール アクティビティ領域	発信者ID、通話時間、および標準の表示で強調表示されている回線のコールの状態など、回線ごとの現在のコールを表示します。回線およびコールのアイコン、(7 ページ) および「複数のコール」を参照してください。
6	電話タブ	コール アクティビティを示します。
7	機能タブ	開いている機能メニューを示します。詳細については、機能ボタンとメニューについて、(11 ページ) を参照してください。



(注) 電話機のメッセージ、ディレクトリ、およびサービスの各スクリーンは、電話機がどのように設定されているかに応じて、通常モードで表示されることも、ワイドモードで表示されることもあります。ワイドモードの電話機ウィンドウは、電話スクリーンの幅全体に表示されます。ユーザも管理者も電話スクリーンの表示モードを調整することはできません。

## 電話スクリーンの動作

電話機のスクリーン上の項目を選択する方法には、次の方法があります。


電話スクリーンの項目の選択方法	操作
項目を押す (Cisco Unified IP Phone 7970G、7971G-GE、および 7975G のみ)	指で触れて選択できるタッチスクリーンの項目を指で押すか軽くたたきます。タッチスクリーンを押すときは指だけを使用してください。道具を使用すると画面に傷が付くおそれがあります。電話番号を押すと、電話機でその番号がダイヤルされます。
項目番号を指定する	キーパッドで該当する番号を押します。たとえば、メニューの4番めの項目を選択するには、4 を押します。
項目までスクロールする	ナビゲーション ボタンを使用して、項目を強調表示します。選択ボタンを押して項目を選択するか、ソフトキーを押して操作を終了します。



## 電話スクリーンのクリーニングとメンテナンス





電話スクリーンのクリーニングおよびメンテナンスが必要になる場合があります。モデルに応じて、電話機には特定の要件があります。次の項では、電話機のクリーニングについて説明します。

## Cisco Unified IP Phone 7970G/7971G-GE/7975G のクリーニングとメンテナンス

タッチスクリーンを拭くときは、乾いた柔らかい布だけを使用します。液体や粉末は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

ディスプレイ ボタン  を使用して、クリーニングのためタッチスクリーンを無効または有効にすることができます。ディスプレイ ボタンの色によって、タッチスクリーンの状態の変化が次のように示されます。


-  緑、点灯：タッチスクリーンは省電力モード
-  緑、点滅：タッチスクリーンは無効

目的	操作
クリーニングのためタッチスクリーンを無効にする	 を 1 秒より長く押します。  が点滅します。スクリーンは、有効にしない限り、約 1 分間無効になります。
タッチスクリーンを有効にする（無効にした後）	 （点灯）を 1 秒より長く押します。
タッチスクリーンを省電力モードから復帰させる	タッチスクリーンまたは任意のボタンを押すか、ハンドセットを取り上げます。  システム管理者によって決められた非アクティブ時間が経過すると、タッチスクリーンは節電のため省電力モードに入ります。このモードでは、タッチスクリーンには何も表示されず、ディスプレイ ボタン  は点灯しています。

## Cisco Unified IP Phone 7945G/7965G のクリーニングとメンテナンス






電話スクリーンを拭く場合は、乾いた柔らかい布だけを使用してください。電話機には液体や粉を使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

電話機が省電力モードになっているときは、タッチスクリーンは空白で、ディスプレイ ボタンは点灯しません。電話機がこの状態のときはスクリーンをクリーニングできますが、クリーニングを終了するまで電話機のスリープ状態が続くことがわかっている場合に限りです。クリーニング中に電話機を復帰させる可能性がある場合は、復帰した状態になるのを待ってから、前述のクリーニング手順を実行します。

目的	操作
省電力モードから電話スクリーンを復帰させる	任意のボタンを押すか、ハンドセットを取り上げます。 システム管理者によって決められた非アクティブ時間が経過すると、電話スクリーンは節電のため省電力モードに入ります。このモードでは、電話スクリーンには何も表示されず、ディスプレイ ボタン  が点灯し続けます。









## 機能ボタンとメニューについて

機能ボタンを押して、機能メニューの開閉を行います。

目的	操作
機能メニューを開閉する	次の機能ボタンを押します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>•  メッセージ</li> <li>•  サービス</li> <li>•  ヘルプ</li> <li>•  ディレクトリ</li> <li>•  設定</li> </ul>
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーション ボタンを押します。
機能メニューの1つ前のレベルに戻る	[終了] を押します。メニューの最上位レベルで [終了] を押すと、メニューが閉じます。
開いている機能メニューを切り替える	機能タブを押します。機能メニューごとに、対応するタブがあります。機能メニューを開くと、対応するタブが表示されます。

## 電話機のヘルプシステム

この電話機は、包括的なオンライン ヘルプ システムを備えています。ヘルプの項目は電話スクリーンに表示されます。

目的	操作
メインメニューを表示する	電話機の  を押し、メニューが表示されるまで数秒待ちます。メインメニューには、次の項目が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified IP Phone について：電話機に関する詳細な説明</li> <li>• 操作方法：電話機の一般的なタスクに関する手順</li> <li>• コール機能：コール機能に関する説明や手順</li> </ul>
ボタンやソフトキーを確認する	 を押してから、すばやくボタンまたはソフトキーを押します。
メニュー項目を確認する	 、  、  のいずれかを押し、機能メニューが表示されます。メニュー項目を強調表示し、  をすばやく 2 回押します。
ヘルプを使用してヘルプを表示する	 を押します。数秒待ってから  をもう一度押すか、またはメインメニューから [ヘルプ] を選択します。


## 機能のオペラビリティ

電話機のシステム設定によって、この電話ガイドに記載されている機能がご使用の電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のオペラビリティの詳細は、サポートデスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

機能にアクセスするには、ソフトキーを使うか回線ボタンを押します。機能の一部はユーザが設定できますが、大部分はシステム管理者が制御します。


次に、機能にアクセスするためのソフトキーと回線ボタンの使用方法について詳しく説明します。

機能	ソフトキー	回線ボタンのラベルとアイコン
折返し	折返し	[折返し] 
コール転送	不在	[不在転送] 
コールパーク	パーク	[パーク] 
コールピックアップ	ピックアップ	[ピックアップ] 
会議	会議	[会議] 
会議参加リスト	参加者	[会議参加リスト] 

機能	ソフトキー	回線ボタンのラベルとアイコン
サイレント	サイレント	[サイレント]  または [サイレント] 
コールの終了	終了	[コールの終了] 
グループ ピックアップ	G ピック	[グループピックアップ] 
保留	保留	[保留] 
ハント グループ	ハント	[ハント グループ]  または [ハント グループ] 
迷惑呼 ID	迷惑呼	[迷惑呼 ID] 
ミーティング会議	ミーティング	[ミーティング] 
モビリティ	モビリティ	[モビリティ] 
発信	発信	[発信] 
他グループ ピックアップ	他グループ	[他グループ ピックアップ] 
品質レポート ツール	QRT	[品質レポート ツール] 
リダイヤル	リダイヤル	[リダイヤル] 
最後の会議参加者の削除	ドロップ	[ドロップ] 
転送	転送	[転送] 
ビデオ サポート	ビデオ	[ビデオ] 

## SIP および SCCP シグナリング プロトコル

電話機は、SIP（セッション開始プロトコル）と SCCP（Skinny Call Control Protocol）の2つのうち、いずれのシグナリングプロトコルに対応するように設定できます。電話機で使用するプロトコルは、システム管理者が決定します。

電話機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、プロトコルに固有の機能を説明します。電話機で使用されているプロトコルを知るには、システム管理者に問い合わせるか、電話機の  > [モデル情報] > [コール制御プロトコル] を選択します。

## 電力の節約

電話機は、Cisco EnergyWise プログラムをサポートしています。節電のための電話機のスリープ（電源オフ）とウェイク（電源オン）の時間はシステム管理者が設定します。

システム管理者がオーディオアラートをイネーブルにしている場合は、スケジュールされたスリープ時刻の 10 分前に呼出音が再生されます。呼出音は、次のスケジュールに従って再生されます。

- 電源オフの 10 分前に、呼出音が 4 回再生される
- 電源オフの 7 分前に、呼出音が 4 回再生される
- 電源オフの 4 分前に、呼出音が 4 回再生される
- 電源オフの 30 秒前に、呼出音は、15 回再生されるか、電話機の電源がオフになるまで再生される

スリープ時に電話機が非アクティブ（アイドル）の場合は、電話機の電源がオフにされることを通知するメッセージが表示されます。電話機をアクティブな状態のまま保つには、電話機の任意のキーを押します。どのキーも押さなかった場合、電話機の電源はオフになります。

電話機がアクティブ（電話中など）の場合、電話機が非アクティブになってしばらく経ってから、保留になっている電源シャットダウンの通知が表示されます。シャットダウン前に、電話機の電源がオフになることを通知するメッセージが表示されます。

スケジュールされた時間に、電話機の電源はオンになります。スケジュール時間よりも前に電話機を復帰させるには、管理者に連絡してください。

ウェイク時間とスリープ時間は、通常勤務する設定済みの日にリンクされています。要件が変わった（たとえば、勤務時間または勤務日が変わった）場合は、電話機を再設定するようシステム管理者に依頼してください。

EnergyWise および電話機の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



## 第 2 章

# 電話機の設置

---

この章では、電話機の設置方法について説明します。次の内容で構成されています。

- [Cisco Unified IP Phone のケーブルの設置, 15 ページ](#)
- [TAPS 登録, 18 ページ](#)
- [ヘッドセット, 18 ページ](#)
- [電話機のケーブルロック, 19 ページ](#)

## Cisco Unified IP Phone のケーブルの設置

次の図と表を参照して、電話機を接続します。

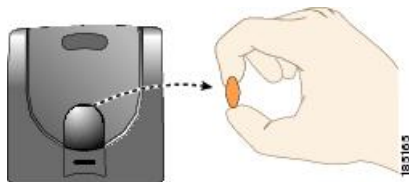
## フックスイッチクリップの取り外し（必須）



1	DC アダプタ ポート	2	AC-DC 電源装置
3	AC 電源コード	4	ネットワーク ポート
5	アクセス ポート	6	ハンドセット ポート
7	ヘッドセット ポート	8	フットスタンド ボタン
9	補助ポート		

## フックスイッチクリップの取り外し（必須）

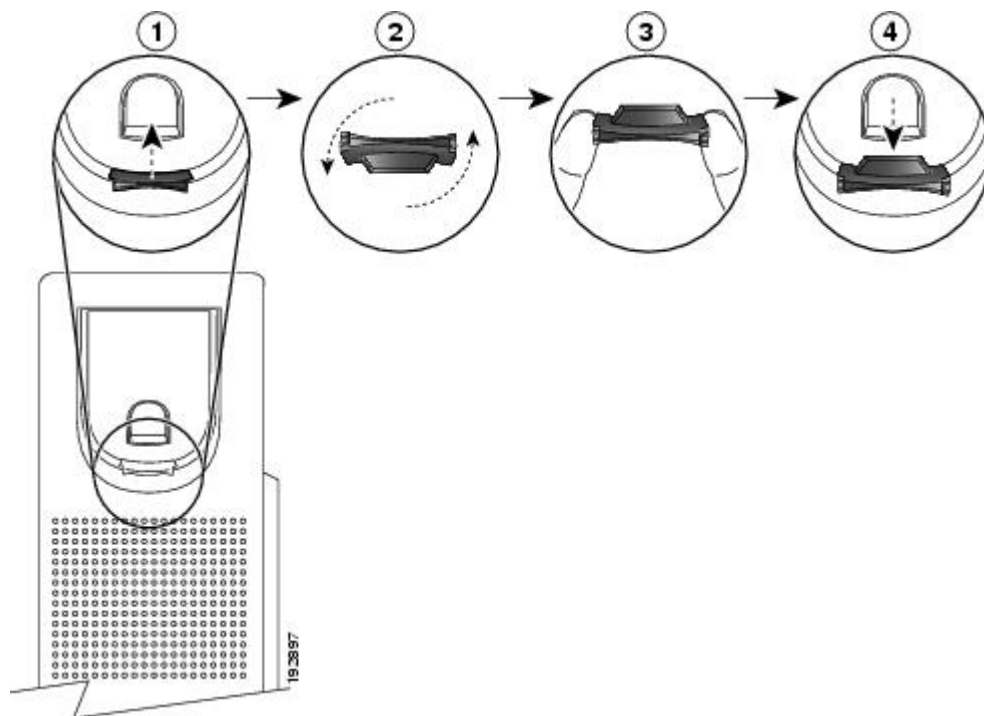
電話機には、フックスイッチを固定するクリップが付いている場合があります。その場合は、電話機を使用する前に、受け台からフックスイッチクリップを取り外してください。クリップが取り外されていると、ハンドセットを取り上げたときにフックスイッチがわずかに上がります。





## ハンドセット受け台の調整

電話機が壁に取り付けられている場合は、ハンドセットが受け台から滑り落ちないようにハンドセットの受け台を調整する必要があります。



### 手順

- 
- ステップ1 ハンドセットをはずし、ハンドセット受け台からプラスチックのタブを引き出します。
  - ステップ2 タブを180度回します。
  - ステップ3 コーナーのノッチを手前に向けて、2本の指でタブを持ちます。
  - ステップ4 タブを受け台のスロットに合わせ、タブをスロット内に均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。
  - ステップ5 ハンドセットを受け台に戻します。
- 

## フットスタンドの調節

電話機本体の角度を変更するには、フットスタンドボタンを押しながらフットスタンドを調節します。

## TAPS 登録

TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、音声プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

## ヘッドセット

Cisco Unified IP Phone では、有線ヘッドセットを使用できます。Cisco Unified IP Phone 7945G/7965G/7975G を使用している場合は、ワイヤレスヘッドセットリモートフックスイッチコントロール機能と組み合わせて、ワイヤレスヘッドセットを使用できます。

## ヘッドセットのサポート

シスコでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内で若干のテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。

シスコでは、不要な無線周波数 (RF) および可聴周波数 (AF) が遮蔽された、高品質のヘッドセットの使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音やエコーが入ることもあります。またハム音が、相手方だけに聞こえる場合もあれば、Cisco IP Phone のユーザおよび相手方の両方に聞こえる場合もあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。



(注) 場合によっては、ハム音は、ローカル電源キューブやパワーインジェクタを使用することにより、軽減または除去が可能です。

このように、Cisco Unified IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する可能性があるため、すべての環境に適した単一のヘッドセットは存在しません。

ヘッドセットの購入を決定し大規模に展開する前に、それらのヘッドセットについて予想される環境でテストしパフォーマンスを測定することを推奨します。

### 関連トピック

[外部デバイス, \(xv ページ\)](#)

## 音声品質

物理的、機械的、および技術的な性能以上に、ヘッドセットの音質がユーザと通話相手の双方にとって良質である必要があります。音質の判断は主観によるため、シスコが特定のヘッドセットのパフォーマンスを保証することは不可能です。しかし、大手メーカーのさまざまなヘッドセットについて、Cisco Unified IP Phone で良好に作動することが報告されています。詳細については、ヘッドセットのマニュアルを参照してください。

## 電話機のケーブルロック

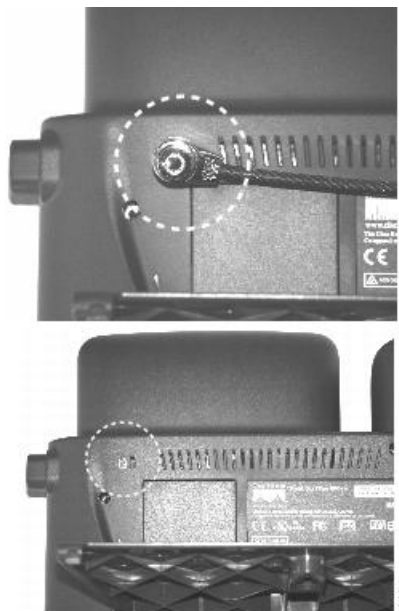
ラップトップ ケーブルロックを使用して、Cisco Unified IP Phone をデスクトップに固定できます。ロックを電話機の背面にあるセキュリティスロットに接続し、ケーブルを卓上に固定できます。

セキュリティスロットには、幅 20 mm までのロックを挿入できます。互換性のあるラップトップ ケーブルロックとして Kensington 製のラップトップ ケーブルロックの他、電話機の背面にあるセキュリティスロットに適合するその他のメーカー製ラップトップ ケーブルロックがあります。

## Cisco Unified IP Phone 7945G/7965G/7975G のケーブルロック

ケーブルロックを Cisco Unified IP Phone 7945G/7965G/7947G に接続する方法については、次の図を参照してください。

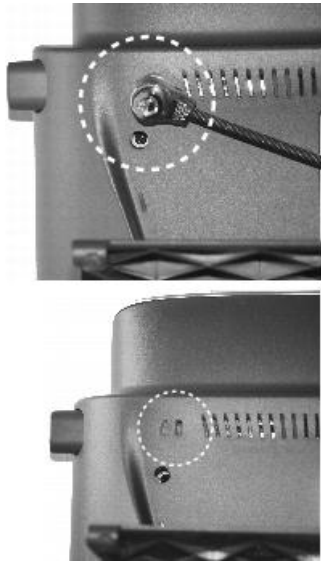
図 1: ケーブルロックの接続



## Cisco Unified IP Phone 7970G/7971G-GE のケーブルロック

ケーブルロックを Cisco Unified IP Phone 7970G/7971G-GE に接続する方法については、次の図を参照してください。

図 2: ケーブルロックの接続





## 第 3 章

# コール機能

---

各種の機能およびサービスを使用して、基本的なコール処理タスクを実行できます。機能の Availability が異なる場合、詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



この章は、次の内容で構成されています。

- [基本的なコール操作, 21 ページ](#)
- [その他のコール オプション, 24 ページ](#)
- [コールへの応答, 28 ページ](#)
- [コールの切断, 29 ページ](#)
- [保留と再開, 30 ページ](#)
- [ミュート, 31 ページ](#)
- [複数のコール, 32 ページ](#)
- [進行中のコールの移動, 34 ページ](#)
- [コール転送, 35 ページ](#)
- [ボイス メッセージ システムへのコールの転送, 36 ページ](#)
- [コール転送, 37 ページ](#)
- [サイレント, 39 ページ](#)
- [電話会議, 40 ページ](#)
- [インターコム コール, 45 ページ](#)
- [応用的なコール処理, 47 ページ](#)

## 基本的なコール操作

ここでは、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法を一部紹介します。

## ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます（プレダイヤル）。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げるか、[ダイヤル]、、または  を押して、オフフックにします。
- プレダイヤルすると、これからダイヤルしようとする番号候補として、発信履歴ログに一致する番号があれば、その番号が電話機に表示されます。この機能を自動ダイヤルと呼びます。自動ダイヤルを使用し、表示された番号をコールするには、番号を押すか、または番号をスクロールしてオフフックにします。
- 間違っただイヤルした場合は、[<<] を押して、番号を消去します。
- コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールはモニタまたは記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- 電話機の [録音] ソフトキーを押すことで、録音を開始または停止できます。
- お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリにプラス (+) 記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## 関連トピック

[保留と再開, \(30 ページ\)](#)

[電話機の機能, \(1 ページ\)](#)

[ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォン, \(69 ページ\)](#)

[通話履歴, \(81 ページ\)](#)

# コールの発信

## 手順

ハンドセットを取り上げ、番号をダイヤルします。

# スピーカフォンを使用したコールの発信

## 手順

---

**ステップ 1**  を押します。



**ステップ 2** 番号を入力します。

---

## ヘッドセットを使用したコールの発信

### 手順

次のいずれかの操作を実行します。

-  を押して、番号を入力します。
-  が点灯している場合は、[発信] を押し、番号を入力します。

## 番号のリダイヤル

### 手順

次のいずれかの操作を実行します。

- [リダイヤル] を押して、最後の番号をダイヤルします。
- (電話機がアイドルのときに) ナビゲーション ボタンを押して、発信履歴を確認します。


## 別のコールがアクティブなときのコールの発信 (同じ回線を使用)

### 手順

- 
- ステップ1 [保留] を押します。
  - ステップ2 [発信] を押します。
  - ステップ3 番号を入力します。
- 

## 通話履歴からのダイヤル

### 手順

- 
- ステップ1  を選択します。
  - ステップ2 次のエントリのいずれかを選択します。

- 不在履歴
- 着信履歴
- 発信履歴

**ステップ3** リストの番号を選択するかまたはスクロールして選択し、オフフックにします。

---

## その他のコールオプション

この電話機で利用可能な特別な機能やサービスを使ってコールを発信できます。これらのその他のオプションについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

### ヒント

- Cisco エクステンション モビリティ プレフィックスを使用したコールの発信の詳細については、[Cisco エクステンション モビリティ](#)、(62 ページ) を参照してください。
- スピードダイヤル、履歴、またはディレクトリのリストに関連付けられた回線が使用中であるかどうかを、その回線にコールを発信する前に確認する方法は、[ビジー ランプ フィールド機能](#)、(56 ページ) を参照してください。


### 関連トピック

- [保留と再開](#)、(30 ページ)
- [スピードダイヤル](#)、(47 ページ)
- [プライオリティ コール](#)、(60 ページ)
- [1つの電話番号を使用したビジネス コール](#)、(64 ページ)
- [Web でのファストダイヤル](#)、(99 ページ)
- [モバイル コネクト用の電話機およびアクセス リストの設定](#)、(109 ページ)
- [通話履歴](#)、(81 ページ)
- [Web でのパーソナルディレクトリ](#)、(97 ページ)
- [パーソナルディレクトリ](#)、(88 ページ)

## 別のコールがアクティブなときのコールの発信（異なる回線を使用）

### 手順

---

**ステップ1** 新しい回線の  を押します。最初のコールは、自動的に保留になります。

**ステップ2** 番号を入力します。


---



## スピードダイヤル コールの発信


### 手順

次のいずれかの操作を実行します。

-  (スピードダイヤル ボタン) を押します。
- 短縮ダイヤル機能を使用します。
- ファストダイヤル機能を使用します。

## 電話機の社内ディレクトリからのダイヤル

### 手順

- 
- ステップ1  > [社内ディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります) 。
- ステップ2 名前を入力して、[検索] を押します。
- ステップ3 該当のエントリを選択し、オフフック状態にします。
- 

## Cisco WebDialer を使用したパーソナルコンピュータの社内ディレクトリからのダイヤル

### 手順

- 
- ステップ1 Web ブラウザを開き、WebDialer 対応の社内ディレクトリに移動します。
- ステップ2 ダイヤルする番号をクリックします。
-

## ビジーまたは呼び出し中の内線が使用可能になったときの通知（折返し）



(注) コールが監察されている場合は、コール観察者は折返しを使用できません。

### 手順

- ステップ1 ビジー音または呼出音が聞こえているときに、[折返し]を押します。
- ステップ2 電話を切ります。回線が利用できるようになると、電話機から通知があります。
- ステップ3 再びコールを発信します。

## プライオリティ（Precedence）コールの発信


プライオリティ コールは、SCCP 電話機のみでサポートされています。

### 手順

Multilevel Precedence and Preemption（MLPP）アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。

## 個人アドレス帳（PAB）のエントリへのダイヤル

### 手順

- ステップ1  > [パーソナルディレクトリ]を選択してログインします。
- ステップ2 [個人アドレス帳]を選択し、リストを検索します。
- ステップ3 連絡先までスクロールするか、インデックス番号を押します。指定した連絡先がダイヤルされます。

## 課金またはトラッキングコードを使用したコールの発信

課金コードまたはトラッキングコードは、SCCP 電話機のみでサポートされています。

---

### 手順

- ステップ1 番号をダイヤルします。
  - ステップ2 トーンが鳴ったら、クライアント識別コード (CMC) または強制承認コード (FAC) を入力します。
- 

## モバイル ボイス アクセスを使用した携帯電話からのコールの発信

---

### 手順

- ステップ1 モバイル ボイス アクセス番号および個人識別番号をシステム管理者から入手します。
  - ステップ2 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。
  - ステップ3 (必要に応じて) 携帯電話番号および PIN を入力します。
  - ステップ4 1 を押して、社内の IP 電話にコールを発信します。
  - ステップ5 自分以外のデスクトップ電話番号をダイヤルします。
- 

## ファスト ダイヤル コール の発信

この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービス URL を回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。


---

### 手順

- ステップ1 ファスト ダイヤル回線ボタンを押します。
  - ステップ2 エントリを検索して選択するには、インデックス番号までスクロールするか、インデックス番号を押します。  
指定した番号がダイヤルされます。
-







## 個人アドレス帳 (PAB) のエントリへのダイヤル

### 手順

- ステップ 1  > [パーソナルディレクトリ] を選択してログインします。
- ステップ 2 [個人アドレス帳] を選択し、リストを検索します。
- ステップ 3 連絡先までスクロールするか、インデックス番号を押します。  
指定した連絡先がダイヤルされます。

## コールへの応答

コールに応答するには、ハンドセットを取り上げるか、電話機で利用できるその他のオプションを使用します。

目的	操作	詳細の参照先
ヘッドセットで応答する	<p> が点灯していない場合は、押します。 が点灯している場合は、[応答] または  (点滅) を押します。</p> <p>(注) 呼び出す回線は自動的に選択されま す。毎回プライマリ回線を選択する オプションについては、システム管理 者にお問い合わせください。</p> <p>ワイヤレス ヘッドセットを使用している場合 は、ワイヤレス ヘッドセットのマニュアルを参 照してください。</p>	<p>ハンドセット、ヘッドセット、ス ピーカフォン、(69 ページ)</p>
スピーカフォンで応答する	<p>、[応答]、または  (点滅) を押します。</p> <p>(注) 呼び出す回線は自動的に選択されま す。毎回プライマリ回線を選択する オプションについては、システム管理 者にお問い合わせください。</p>	<p>ハンドセット、ヘッドセット、ス ピーカフォン、(69 ページ)</p>
接続されているコールから新規 コールに切り替えて応答する	<p>[応答] を押すか、別の回線で呼出音が鳴ってい る場合は、 (点滅) を押します。</p>	<p>保留と再開、(30 ページ)</p>
コール待機を使用して応答する	<p>[応答] を押します。</p>	<p>保留と再開、(30 ページ)</p>



目的	操作	詳細の参照先
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[即転送] を押します。	<a href="#">ボイス メッセージ システムへのコールの転送</a>
コールを自動接続する	自動応答機能を使用します。	<a href="#">ヘッドセットまたはスピーカフォンを使用した自動応答, (72 ページ)</a>
別の電話機でパークされたコールを取得する	コールパーク、ダイレクトコールパーク、または処理されたダイレクトコールパークを使用します。	<a href="#">コールパーク, (50 ページ)</a>
電話機を使用して、他の場所で呼び出し中のコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	<a href="#">コールピックアップ, (48 ページ)</a>
プライオリティ コールに応答する (SCCP 電話のみ)	現在のコールを切断して [応答] を押します。	<a href="#">プライオリティ コール, (60 ページ)</a>
携帯電話またはその他のリモート送信先でコールに応答する	モバイル コネクトを設定して電話に応答します。  モバイル コネクトを有効にして携帯電話でコールに応答しており、かつ最大 4 台の IP Phone または Softphone を共有回線として設定している場合は、追加の電話は点滅を停止します。	<a href="#">1つの電話番号を使用したビジネスコール, (64 ページ)</a>

### ヒント



- コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールはモニタまたは記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- コールセンターまたは同様の環境で勤務している場合は、事前に録音した独自のグリーティングを作成、更新、および削除できます。このグリーティングは、電話機に対してエージェント グリーティングが設定されている場合に自動的に再生されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- コール観察ユーザは、コールが監察されているときは着信コールに応答できません。

## コールの切断



コールを終了するには、単純に切断します。次の表に、詳細を示します。

目的	操作
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または [終了] を押します。
ヘッドセットを使用しているときに切断する	<p> を押します。または、ヘッドセット モードをアクティブのままにするには、[終了] を押します。</p> <p>Cisco Unified IP Phone 7945G/7965G/7975G は、ワイヤレス ヘッドセットをサポートしています。ワイヤレス ヘッドセットを使用している場合、使用方法についてはワイヤレスヘッドセットのマニュアルを参照してください。</p>
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または [終了] を押します。
複数のコールがある場合に 1 つのコールだけを切断する	[終了] を押します。必要に応じて、まず、コールの保留を解除しておきます。

## 保留と再開

コールを保留および再開できます。コールを保留すると、コール情報領域の右側に保留アイコン  が表示され、該当の回線ボタン  が緑色に点滅します。共有回線を使用してコールを保留にすると、回線ボタンが緑色に点灯し、電話に保留アイコンが表示されます。別の電話機がコールを保留にすると、回線ボタンが赤に点滅し、電話機にリモート回線の保留アイコンが表示されます。

電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定の時間が経過した後に復帰し、呼出音が再び鳴るようになります。「復帰」コールは、ユーザが保留解除するまで、または保留復帰がタイムアウトするまで保留状態のままです。復帰コールが存在する場合、電話機が次のように動作します。

- 一定の間隔で呼出音（点滅やビープ音など、電話回線の設定によって異なる）を 1 回鳴らして警告する。
- 電話スクリーン下部のステータス バーに「保留復帰」という短いメッセージを表示する。
- 保留コールの発信者 ID の横に保留復帰アイコン  の動画を表示する。
- 点滅するオレンジの回線ボタン （回線の状態によって異なる）を表示する。

### ヒント

- 保留機能をオンにすると通常、音楽（保留音が設定されている場合）またはビープ音が生成されます。

- 着信コールと復帰コールが同時に存在するというアラートが発生すると、デフォルトでは、電話機のスクリーンは着信コールの表示にフォーカスを移します。システム管理者は、このフォーカス優先度の設定を変更できます。
- 共有回線を使用している場合、保留復帰の呼出音は、コールを保留している電話機でのみ鳴ります。回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰のアラートが発生する間隔は、システム管理者が決定します。
- コールが監察されている場合は、コール観察者は [保留] を使用できません。



## コールの保留

### 手順

- 
- ステップ1** 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。
- ステップ2** [保留] を押します。
- 

## 異なる回線での保留の解除

### 手順



- 
- ステップ1** 該当する回線ボタン  または  (点滅) を押します。この操作により、保留コールが自動的に復帰する場合があります。
- 回線に復帰コールが1つある場合、そのコールは保留解除されます。
  - 回線に復帰コールが複数ある場合、最も古い復帰コールが保留解除されます。
  - 非復帰の保留コールが、回線の唯一のコールである場合は、非復帰の保留コールが復帰します。
- ステップ2** 必要に応じて、該当するコールまでスクロールし、[復帰] を押します。
- 

## ミュート

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットでミュートを使用できます。

## コールのミュートまたはミュート解除

### 手順

- 
- ステップ 1** コールをミュートするには、 を押します。
- ステップ 2** コールのミュートを解除するには、 を押します。
- 

## 複数のコール

電話機に複数のコールを表示する方法を理解することで、コール処理の計画に役立ちます。

標準表示モードで、この電話機は、次のように強調表示されている回線でコールを表示します。

- 優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、グループ化されて表示されます。たとえば、相互に通話したコールは先頭付近に、そして保留状態のコールは末尾付近にグループ化されます。

1本または複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが自動的に強調表示されない場合は、ナビゲーションボタンを使用してそのコールまでスクロールします。


## 同じ回線で接続されているコール間の切り替え

### 手順

- 
- ステップ 1** 切り替えるコールを強調表示します。
- ステップ 2** [復帰] を押します。  
アクティブなコールは保留状態になり、選択したコールが復帰します。
- 

## 異なる回線で接続されているコール間の切り替え

### 手順

- 
- ステップ 1** 切り替え先の回線で  を押します。



回線上で保留中のコールが 1 件しかない場合、自動的にそのコールが復帰します。

**ステップ 2** 複数のコールが保留中の場合は、該当のコールを選択して、[復帰] を押します。

---

## 呼び出し中のコールに応答するための接続コールからの切り替え

### 手順

次のいずれかの操作を実行します。

- [応答] を押します。
- 別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、● (点滅) を押します。

アクティブなコールは保留状態になり、選択したコールが復帰します。

## 現在の回線での保留の解除

### 手順

**ステップ 1** 該当するコールを強調表示します。

**ステップ 2** [復帰] を押します。

---

## 別の回線のコールの表示

### 手順



**ステップ 1** ● を押します。

**ステップ 2** すぐに回線ボタン ● を押します。

---

## コールの概要モードへの切り替え

### 手順


- 
- ステップ 1** 強調表示された回線の  を押します。  
電話機がコールの概要モードに切り替わり、回線ごとに1つのコールだけが表示されます。表示されているコールは、アクティブなコール、または通話時間の最も長い保留中のコールのいずれかです。
- ステップ 2** 標準の表示モードに戻るには、 を押してから、すぐに回線ボタンを押します。
- 

## 進行中のコールの移動

進行中のコールは、デスクトップの電話機と、携帯電話または他のリモート接続先の電話機との間で切り替えることができます。

## 進行中のコールのデスクの電話機から携帯電話への切り替え

### 手順

- 
- ステップ 1** [モビリティ] ソフトキーを押し、[携帯電話へコールを送信] を選択します。
- ステップ 2** 進行中のコールに携帯電話で応答します。  
デスクトップの電話回線ボタンが赤  に変わり、ハンドセットアイコンと発信者の番号が電話機に表示されます。他のコールには同じ電話回線を使用できません。ただし、デスクの電話機が複数の回線をサポートしている場合は、別の回線を使用してコールを発信および受信できます。
- 

## 携帯電話からデスクの電話機への進行中のコールの切り替え

### 手順

- 
- ステップ 1** 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
- ステップ 2** デスクトップの電話機で4秒以内に[復帰]を押して、デスクトップの電話機で会話を開始します。
-

## 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有するデスクの電話機への切り替え（セッションハンドオフ）

### 手順

- ステップ1 携帯電話でセッションハンドオフ機能のアクセスコード（\*74 など）を入力します。アクセスコードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
- ステップ2 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
- ステップ3 10秒以内にデスクの電話機の [応答] ソフトキーを押して、デスクの電話機で会話を開始します。システム管理者は、デスクの電話機のコールに応答するまでの最大秒数を設定します。同じ回線を共有する他の Cisco Unified デバイスには、「リモートで使用中」メッセージが表示されます。

## コール転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

### ヒント

- 電話機でオンフック転送が有効な場合は、切断してコールを完了するか、または [転送] を押してから切断できます。
- 電話機のオンフック転送が有効でない場合は、[転送] を再び押さずに、切断することで、コールを保留にします。
- [転送] を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。[復帰] を押して、転送前にコールの保留を解除してください。
- コールが監察されている場合は、コール観察者は転送を使用できません。
- コールをボイスメッセージシステムにリダイレクトするには、[即転送] を押します。詳細については、[ボイスメッセージシステムへのコールの転送](#)を参照してください。

## 転送先の相手と会話しないコール転送

### 手順

- 
- ステップ1 アクティブなコールで [転送] を押します。
  - ステップ2 転送先の番号を入力します。
  - ステップ3 [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。
  - ステップ4 電話機のオンフック転送が有効になっている場合は、通話を切ると転送が完了します。
- 

## 転送先の相手と会話してからコールの転送（打診転送）

### 手順

- 
- ステップ1 アクティブなコールで [転送] を押します。
  - ステップ2 転送先の番号を入力します。
  - ステップ3 相手が応答するのを待ちます。
  - ステップ4 [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。
  - ステップ5 電話機のオンフック転送が有効になっている場合は、通話を切ると転送が完了します。
- 

## ボイス メッセージ システムへのコールの転送

[即転送] を使用して、アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールを自分のボイス メッセージシステムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、[即転送] を使用して、別の通話相手のボイス メッセージシステムにコールを送信することもできます。

- コールが最初から別の相手の電話に送信されていた場合は、[即転送] でそのコールを自分のボイス メッセージシステムまたは本来のコール先のボイス メッセージシステムのいずれかにリダイレクトできます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記のオプションをサポートしていない場合、[即転送] を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージシステムにリダイレクトされます。

## ヒント

- 電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、[即転送] をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified Phone に切り替えると（セッションハンドオフ）、Cisco Unified Phone の即転送機能は無効になります。即転送機能は、コールが終了すると復帰します。

# アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールのボイスメッセージシステムへの送信

## 手順

- 
- ステップ 1** [即転送] を押します。  
使用できるリダイレクト オプションがない場合は、コールはご使用のボイスメッセージシステムに転送されます。
- ステップ 2** 使用できるリダイレクト オプションがある場合は、ご使用の電話機に新しいメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。
- 

## コール転送

コール転送機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。


システム管理者によって設定されている場合は、次の2種類のコール転送機能から選択できます。

- 無条件コール転送（すべてのコールを転送）：受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きコール転送（無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送）：条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。

不在転送機能には、電話機または Cisco Unified Communications Manager のユーザ オプション Web ページからアクセスできます。条件付きコール転送機能には、ユーザ オプション Web ページからでないとアクセスできません。どのコール転送機能を使用できるかは、システム管理者が決定します。

## ヒント

- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセス コードや市外局番を入力します。

- 従来のアナログ電話機、または他の電話機にコールを転送できます。ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は電話回線に固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- 不在転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、コール転送ループを招く転送先番号が入力された場合、またはコール転送チェーンで許可された最大リンク数を超えることになる転送先番号が入力された場合です。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified Phone に切り替えた場合（セッションハンドオフ）は、電話機のコール転送機能は無効になります。コール転送機能は、コールが終了すると復帰します。
- プライマリ回線で不在転送が有効かどうかを確認するには、次の点を確認します。
  - プライマリの電話番号の上にコール転送アイコン  が表示されている。
  - ステータス行にコール転送の転送先番号が表示されている。

#### 関連トピック

[Web での回線設定](#), (107 ページ)

[ユーザ オプション Web ページの操作](#), (95 ページ)

## 電話機からの不在転送の設定およびキャンセル

### 手順

- 
- ステップ 1** 不在転送を設定するには、[不在] または [不在転送] を押して、目的の電話番号を入力します。
- ステップ 2** 不在転送をキャンセルするには、[不在] または [不在転送] を押します。
- 

## コール転送の設定またはキャンセル

プライマリ回線以外の回線でコール転送を有効にした場合、電話機ではコールが転送されていることを確認できません。ユーザが自分でユーザ オプション Web ページの設定を確認する必要があります。

### 手順

- 
- ステップ1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ2** コール転送の設定にアクセスします。
- 

## サイレント

サイレント (DND) を使用すると、着信したコールの音声および表示による通知がオフになります。電話機のサイレントの設定は、システム管理者が行います。




電話機でサイレントとコール転送の両方が有効になっている場合、コールは即座に転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

サイレントと他の種類のコールとの相関関係は、次のとおりです。

- サイレントは、インターコム コールにもインターコム以外のプライオリティ コールにも影響しません。
- サイレントと自動応答の両方が有効になっている場合、インターコム コールのみが自動応答されます。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified Phone に切り替えた場合 (セッションハンドオフ) は、電話機のサイレント機能は無効になります。サイレント機能は、コールが終了すると復帰します。

## DND のオンおよびオフの切り替え

### 手順

- 
- ステップ1** DND をオンにするには、[サイレント] または [サイレント]  を押します。電話機に「サイレント」と表示され、サイレントライト  が点灯し、呼出音がオフになります。
- ステップ2** DND を再度オフにするには、[サイレント] または [サイレント]  を押します。
- 

## サイレント設定のセットアップ

サイレントの設定値がユーザオプションページに表示されるようにシステム管理者によって設定されている場合は、次の手順を実行します。

## 手順

- 
- ステップ1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ2** ドロップダウンメニューから [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
- ステップ3** 次のオプションを設定できます。
- [サイレント] : サイレントを有効または無効に設定します。
  - [DND オプション] : [コール拒否] (音声および表示によるすべての通知をオフにする) または [呼出音オフ] (呼出音だけをオフにする) を選択します。
  - [DND 着信呼警告] (設定された DND オプションに適用される) : アラートをビープ音のみまたは点滅のみに設定するか、アラート通知を無効にします。または、[なし] を選択します (システム管理者が設定した「アラート」設定が使用されます)。
- 

## 電話会議

Cisco Unified IP Phone では、会議コールで複数の参加者と同時に会話できます。

会議は、必要に応じて、また電話機で使用できる機能に応じて、次に示す方法で開催できます。

- 会議 : 参加者それぞれにコールを発信することによって、標準の (アドホック) 会議を開催できます。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。
- 参加 : 既存の複数のコールを結合することによって、標準の (アドホック) 会議を開催できます。
- C 割込 : 共有回線のコールに自分自身を追加することによって、標準の (アドホック) 会議を開催できます。回線ボタンを押すか、[C 割込] を使用します。[C 割込] は、共有回線を使用する電話機のみで使用できます。
- ミートミー : 会議番号にコールを発信することによって、会議を開催したり、会議に参加したりできます。

## アドホック会議

アドホック会議機能を使用すると、参加者それぞれにコールを発信できます。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。



## 参加者へのコールの発信による会議の開催

### 手順

- 
- ステップ1 接続コールで、[会議] を押します。必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[会議] を表示します。
  - ステップ2 参加者の電話番号を入力します。
  - ステップ3 コールが接続されるまで待ちます。
  - ステップ4 [会議] を再び押して、新しい参加者をコールに追加します。
  - ステップ5 この操作を繰り返して、参加者を1人ずつ追加します。
- 

## 会議への新しい参加者の追加

会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者が決定します。

### 手順

- 
- ステップ1 接続コールで、[会議] を押します。必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[会議] を表示します。
  - ステップ2 参加者の電話番号を入力します。
  - ステップ3 コールが接続されるまで待ちます。
  - ステップ4 [会議] を再び押して、新しい参加者をコールに追加します。
  - ステップ5 この操作を繰り返して、参加者を1人ずつ追加します。
- 

## 会議への参加

参加機能を使用すると、複数の既存のコールを結合して、自分が参加者となる会議を開催できます。


### ヒント

- 3人以上の通話相手を結合して1つの会議を開催することが多い場合、結合する複数のコールを先に選択してから [参加] を押すと操作が完了するため、便利です。
- 参加の処理が完了すると、発信者 ID が [会議] に変わります。
- [参加] ソフトキーまたは [D 転送] ソフトキーを使用して複数の会議コールを結合できる場合があります。この機能が使用可能かどうか、システム管理者に確認してください。

- コール観察ユーザは最初の発信者とのみ会議できます。2人目以降の発信者は、会議の他の参加者と会議を行うことができます。


## 単一電話回線の既存コールの結合

### 手順

- 
- ステップ 1** アクティブなコールから会議に含める別のコールを選択し、[選択] を押します。選択したコールにアイコン  が表示されます。
- ステップ 2** 追加するコールごとにこのステップを繰り返します。
- ステップ 3** [参加] を押します。必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[参加] を表示します。
- 

## 複数の電話回線の既存コールの結合

### 手順

- 
- ステップ 1** アクティブなコールから [参加] を押します。必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[参加] を表示します。
- ステップ 2** 会議に含めるコールに対応する、緑色で点滅している回線ボタン  を押します。  
(注) 複数回線のコールの参加が電話機でサポートされていない場合は、[参加] を使用する前に、コールを単一の回線に転送します。
- ステップ 3** 電話スクリーンに結合する複数のコールを選択するよう求めるウィンドウが表示される場合は、コールを強調表示し、[選択] を押してから、[参加] を押して操作を完了します。コールが参加状態になります。
- 

## 会議への割り込み

C 割り込みを使用すると、共有回線のコールに自分自身を追加することによって、会議を開催できます。

### 関連トピック

[割り込み、C 割り込み、および共有回線](#)、(53 ページ)

## 共有回線へのコールの割り込みによる会議の開催

### 手順

- 
- ステップ1** 共有回線の回線ボタンを押します。
- ステップ2** 操作を完了するために、コールを選択して [C 割込] を押す必要がある場合があります。
- 

## ミーティング

ミーティングでは、会議番号に発信することで、会議の開催や参加をすることができます。

### ヒント

- 安全でない電話機から安全なミーティングの番号にコールした場合は、ご使用の電話機に、「認証されていないデバイス」というメッセージが表示されます。詳細については、[セキュアなコール](#)、(57 ページ) を参照してください。
- すべての参加者が電話を切ると、ミーティングは終了します。
- 会議の開催者が切断しても、電話会議は、すべての参加者が電話を切るまで続行されます。

## ミーティングの開催

参加者は、開催者が会議を開始するまで、会議に参加できません。

### 手順

- 
- ステップ1** システム管理者からミーティング電話番号を取得します。
- ステップ2** その電話番号を参加者に配布します。
- ステップ3** 会議を開始する準備ができたなら、オフフック状態にして、ダイヤルトーンを聞いてから、[ミーティング] を押します。
- ステップ4** ミーティング番号をダイヤルします。  
これで、会議の参加者は、ミーティング番号をダイヤルして会議に参加できます。
-

## ミーミー会議への参加

### 手順

- 
- ステップ1** 会議の開催者から配布された、ミーミー会議番号をダイヤルします。
  - ステップ2** ビジートーンが聞こえる場合は、会議の開催者がまだ会議に参加していません。しばらく待ってから再度コールします。
- 

## 会議の参加者リスト

標準の（アドホック）会議中に、参加者のリストを表示したり、参加者を削除したりできます。

### 参加者リストを使用した会議の制御





会議の参加者リスト（[参加者]）には、最大16人の参加者が表示されます。ユーザは会議ブリッジでサポートされる数だけ会議参加者を追加できますが、[参加者]には16人の参加者しか表示されません。新しい参加者が会議に参加すると、[参加者]には最新の16人の参加者のみ表示されず。

### 手順

- 
- ステップ1** [参加者] または [会議参加者リスト] を押します。  
会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。
  - ステップ2** 会議の参加者リストを更新するには、[更新] を押します。
  - ステップ3** 会議の開催者を確認するには、リストの末尾までスクロールして、名前の横にアスタリスク（\*）の付いた参加者を見つけます。
  - ステップ4** 会議の参加者を削除するには、参加者の名前を強調表示して、[削除] を押します。
  - ステップ5** 最後に会議に参加した参加者をドロップするには、[ドロップ] または [最終参加者の削除] を押します。  
参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。
-

## 電話会議のセキュリティの確認

### 手順

- 
- ステップ 1** 会議のセキュリティを確認するには、[参加者] または [会議参加者リスト] を押します。
  - ステップ 2** 会議コールが安全であることを確認するには、電話スクリーンの [会議] の横に  または  アイコンがあることを確認します。
  - ステップ 3** 参加者が安全な電話機からコールしていることを確認するには、電話スクリーンに表示された参加者の名前の横に  または  アイコンがあることを確認します。
- 

## インターコム コール

ミュートをアクティブにしたスピーカフォンモードで、コールに自動応答する通話先の電話機に対して、インターコム コールを発信できます。一方向のインターコム コールでは、通話相手に短いメッセージを配信できます。ハンドセットまたはヘッドセットのいずれかが使用中の場合は、音声はいずれか一方で再生されます。ユーザの通話相手が現在実行中のすべてのコールアクティビティは同時に継続されます。

インターコムのアラート音が聞こえたら、次のオプションのいずれかを選択します。

- マイクフォンをミュートにして発信者の通話を聞く（発信者の声は聞こえるが相手はユーザの声が聞こえない）。
- インターコム コールにフォーカスが置かれた状態で、[終了] を押してインターコム コールを終了する。メッセージを聞かない場合はこの方法を選択します。
- アクティブなインターコム ボタンを押し、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカを使用して、発信者と会話する。インターコム コールは双方向の接続になるため、発信者と対話できます。

インターコム機能を使用する場合は、次の点に注意してください。


- 1つのインターコム回線からは、他のインターコム回線にのみダイヤルできます。
- 同時に使用できるインターコム回線は1つだけです。
- アクティブなコールがモニタまたは記録されているときは、インターコム コールを受信または発信できます。
- インターコム コールは保留にできません。



- (注) Cisco エクステンションモビリティプロファイルを使用して日常的に同じ電話機にログインする場合は、システム管理者がそのプロファイルにインターコム情報を含む電話ボタンテンプレート割り当てを確認し、電話機をインターコム回線のデフォルトのインターコム デバイスとして割り当ててください。


## 事前定義されたインターコム番号へのインターコム コールの発信

### 手順

- ステップ 1  (インターコム ターゲット回線) を押します。
- ステップ 2 インターコムのアラート音が聞こえたら、話を始めます。

## 任意のインターコム番号へのインターコム コールの発信


### 手順

- ステップ 1  (☎) を押します。
- ステップ 2 インターコムの相手先の番号を入力するか、スピードダイヤル番号を押します。
- ステップ 3 インターコムのアラート音が聞こえたら、話を始めます。

## インターコム コールの受信

### 手順

インターコムのアラート音が聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。

- 単方向通話でメッセージを聴きます。
-  (アクティブなインターコム回線) を押して発信者と会話をします。
- インターコム コールにフォーカスがある状態で [終了] を押します。

## 応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。

### スピードダイヤル

スピードダイヤル機能により、インデックス番号の入力、ボタンの押下、または、電話スクリーン項目の選択を行い、発信できます。設定に応じて、電話機で、複数のスピードダイヤル機能をサポートできます。

- スピードダイヤル ボタン
- 短縮ダイヤル
- ファストダイヤル

スピードダイヤル ボタンおよび短縮ダイヤルを設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。ファストダイヤルを設定するには、パーソナルディレクトリ機能にアクセスする必要があります。システム管理者が、スピードダイヤルを設定できます。


#### 関連トピック

- [Web でのスピードダイヤルの設定, \(102 ページ\)](#)
- [ビジーランプフィールド機能, \(56 ページ\)](#)
- [ユーザ オプション Web ページの操作, \(95 ページ\)](#)
- [パーソナルディレクトリ, \(88 ページ\)](#)

### スピードダイヤル ボタンを使用したコールの発信

電話機がビジーランプフィールド (BLF) スピードダイヤル機能をサポートする場合は、スピードダイヤル番号が話し中であるかどうかを、ダイヤルする前に確認できます。

#### 手順

- 
- ステップ 1** スピードダイヤル ボタンを設定します。
  - ステップ 2** コールを発信するには、 (■) を押します。
-

## オンフック短縮ダイヤルを使用したコールの発信

### 手順

- 
- ステップ1 短縮ダイヤル コードを設定します。
  - ステップ2 コールを発信するには、短縮ダイヤル コードを入力し、[短縮] を押します。
- 

## ファスト ダイヤルを使用したコールの発信


### 手順

- 
- ステップ1 個人アドレス帳エントリを作成し、ファスト ダイヤル コードを割り当てます。
  - ステップ2 コールを発信するには、電話機からファスト ダイヤル サービスにアクセスします。
- 

## コール ピックアップ

コール ピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトして、そのコールに応答できます。同僚とコール処理タスクを共有する場合、コールピックアップを使用できます。

### ヒント

- ピックアップ対象のコールが複数ある場合、電話機は最も古いコール（呼び出し中の状態が最も長いコール）からピックアップします。
- [G ピック] または [グループ ピックアップ] を押して回線番号を入力すると、電話機はその回線で呼び出し中のコールをピックアップします（回線が使用可能な場合）。
- 複数の回線があり、プライマリでない回線のコールに応答する場合、最初に目的の回線の  を押してからコール ピックアップのボタンまたはソフトキーを押します。
- ユーザの電話機の設定によっては、ピックアップグループへのコールに関する音声または表示によるアラートを受信する場合があります。
- BLF ピックアップ機能を電話機で使用する場合は、[ビジーランプフィールド機能](#)、(56 ページ) を参照してください。



## コール ピックアップ グループ内の別の内線で呼出音が鳴っているコールへの応答

### 手順

- 
- ステップ 1** [ピック] ソフトキーを押します。 ソフトキーを表示するためにオフフックにしなければならない場合があります。  
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。
- ステップ 2** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
- 

## コール ピックアップ グループ外の別の内線の呼び出し中コールへの応答

### 手順

- 
- ステップ 1** [G ピック] ソフトキーまたは グループ ピックアップ ボタンを押します。 ソフトキーを表示するには、ハンドセットを取り上げなければならないことがあります。
- ステップ 2** グループ ピックアップ 番号を入力します。  
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。
- ステップ 3** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
- 

## グループまたは関連グループ内の別の内線での呼び出し中コールへの応答

### 手順

- 
- ステップ 1** [他グループ] ソフトキーまたは 他グループ ピックアップ ボタンを使用します。 ソフトキーを表示するには、ハンドセットを取り上げなければならないことがあります。  
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。
- ステップ 2** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
-

## 特定の内線（回線番号）で呼び出し中のコールへの応答


### 手順

- 
- ステップ 1** [G ピック] ソフトキーまたは グループ ピックアップ ボタンを押します。 ソフトキーを表示するには、ハンドセットを取り上げなければならないことがあります。
- ステップ 2** ピックアップするコールの回線番号を入力します。たとえば、ピックアップするコールが回線 12345 で鳴っている場合、12345 と入力します。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。
- ステップ 3** コールが鳴ったら、[応答] を押してコールに接続します。
- 

## コールパーク

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified Communications Manager システムの別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）でコールを取得できます。

コールは、次の方法でパークします。

- コールパーク：[パーク] ソフトキーを使用して、コールを保存します。コールに割り当てられたコールパーク番号が電話機に表示されます。この番号を記録し、コールを取得する場合もこの番号を使用する必要があります。
- ダイレクトコールパーク：コール中に [転送] ソフトキーを押します。コールを保存するには、ダイレクトコールパーク番号をダイヤルし、[転送] をもう一度押します。
- 処理されたダイレクトコールパーク：アイドル状態の回線ステータスインジケータを表示する、処理されたダイレクトコールパーク ボタンを使用します。ネットワークの他の Cisco Unified IP Phone からコールを取得するには、点滅している処理されたダイレクトコールパーク  ボタンを押します。

### ヒント

- パークされたコールの取得には制限時間があります。制限時間を超えると元の番号での呼び出しが再開します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- システム管理者は、Cisco Unified IP Phone または Cisco Unified IP Phone Expansion Module（電話機で使用可能であり、サポートされている場合）で使用可能な回線ボタンにダイレクトコールパーク ボタンを割り当てることができます。
- ダイレクトコールパーク ボタンがない場合でも、ダイレクトコールパーク番号にダイヤルできます。ただし、ダイレクトコールパーク番号のステータスは表示できません。

## コールパークを使用したアクティブコールの保存および受け取り

### 手順

- 
- ステップ 1** コール中に [パーク] を押します。必要に応じて、[次へ] ソフトキーを押して、[パーク] を表示します。
  - ステップ 2** 電話スクリーンに表示されたコールのパーク番号を記録します。
  - ステップ 3** 電話を切ります。
  - ステップ 4** パークされたコールをピックアップするには、ネットワーク上の任意の Cisco Unified IP Phone からコールパーク番号を入力します。
- 

## アクティブなコールのダイレクトコールパーク番号への転送および保存

### 手順

- 
- ステップ 1** コール中に [転送] を押します。
  - ステップ 2** ダイレクトコールパーク番号に割り当てられたスピードダイヤル番号を選択するか、番号をダイヤルします。
  - ステップ 3** もう一度 [転送] を押して、コールの保存を終了します。
- 



## ダイレクトコールパーク番号からのパークされたコールの取得

### 手順

ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone からパーク取得プレフィックスを入力し、ダイレクトコールパーク番号にダイヤルします。

## アクティブなコールの処理されたダイレクトコールパーク番号への転送、保存、取得

### 手順


- 
- ステップ1** コール中に、アイドル状態の回線ステータス インジケータ  が表示された 処理されたダイレクトコールパーク ボタンを押します。
- ステップ2** コールを取得するには、点滅している処理されたダイレクトコールパーク  ボタンを押します。管理者が復帰電話番号を設定していない場合、パークされたコールは、そのコールをパーク中の電話機に復帰します。
- 

## ハントグループ

大量の着信コールを受信する組織に属している場合、ハントグループのメンバーになっている可能性があります。ハントグループには、着信コールの負荷を共有する一連の電話番号が設定されています。ハントグループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。

電話機から離れているときは、ハントグループからログアウトすることによって、ハントグループのコールが自分の電話機で鳴らないようにできます。

### ヒント

- ハントグループからログアウトしても、ハントグループ以外のコールは引き続き着信します。
- ログインすると、ハントグループ  ボタンが点灯します。

## ハントグループのログインおよびログアウト

### 手順


- 
- ステップ1** [ハント] を押します。これで、ハントグループにログインしました。
- ステップ2** [ハント] を押します。電話スクリーンに「ハントグループからログアウト」と表示されます。
-

## 共有回線

次の場合、システム管理者が共有回線の使用を指示することがあります。

- 複数の電話機で1つの電話番号を使う
- 同僚とコール処理タスクを共有する
- マネージャに代わってコールを処理する

### リモートで使用中のアイコン

リモートで使用中のアイコンは、共有回線の別の電話機に接続コールがある場合に表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されていても、通常どおり共有回線でコールを発信および受信できます。

### コール情報と割り込み

共有回線の電話機には、共有回線で発信および受信したコールに関する情報がそれぞれ表示されます。この情報には、発信者IDや通話時間などが含まれます。例外については、[プライバシー](#)、[\(53 ページ\)](#) の項を参照してください。

この方法でコール情報が表示される場合は、ユーザおよびユーザと回線を共有する同僚は [割り込み] または [C 割り込] を使用してコールに参加できます。

#### 関連トピック

[割り込み、C 割り込み、および共有回線](#)、[\(53 ページ\)](#)

### プライバシー

回線を共有している同僚に対して自分のコールに関する情報が表示されないようにするには、プライバシー機能を有効にします。この機能を有効にすると、自分のコールに同僚が割り込むのを防止することもできます。詳細については、[プライバシーおよび共有回線](#)、[\(55 ページ\)](#) を参照してください。



(注) 共有回線でサポートされるコールの最大数は、電話機によって異なります。

### 割り込み、C 割り込み、および共有回線

割り込み機能 ([C 割り込] または [割り込み]) を使用して、共有回線のコールに自分自身を追加できます。非通知のコールではこの機能は使用できません。

電話機の設定によっては、[C 割込] または [割込み] を使用して、共有回線のプライベート以外のコールに自分自身を追加できます。

- [C 割込] を使用すると、コールを標準の会議に切り替え、新しい参加者を追加できます。
- [割込み] を使用すると、コールに自分自身を追加することはできますが、コールを会議に切り替えることや、新しい参加者を追加することはできません。

#### 関連トピック

[共有回線](#), (53 ページ)

[電話会議](#), (40 ページ)




## ワンボタンまたはマルチタッチ割り込み

電話機の割り込み機能がワンボタン機能またはマルチタッチ機能のどちらとして動作するかは、システム管理者が決定します。

- ワンボタン割り込みでは、回線ボタンを押してコールに割り込むことができます（回線にコールが 1 つしかない場合）。
- マルチタッチ割り込みでは、コール情報を表示した後で割り込むことができます。

## 割り込み機能

次の表に、割り込み機能 ([C 割込] または [割込み]) を使用して共有回線のコールに自分自身を追加する方法を示します。

目的	操作
共有回線が使用中であることを確認する	赤い回線ボタン  の横にある、リモートで使用中のアイコン  を確認します。
共有回線のコールに参加する	共有回線の赤い回線ボタン  を押します。この結果は、次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• コールに追加されます。</li> <li>• 割り込み先のコールを選択するよう求めるウィンドウが電話機のスクリーンに表示されます。操作を完了するには、[割込み] または [C 割込] を押します。必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[割込み] または [C 割込] を表示します。</li> </ul>

## ヒント

- コールに割り込むと、他の参加者に対して自分の存在を知らせるビープ音が鳴ることがあります。[C 割込]を使用した場合は、他の参加者に短い割り込み音が聞こえ、電話機のスクリーンが切り替わって会議の詳細が表示されます。
- 共有回線の電話機でプライバシー機能が有効な場合、コールの情報や割り込みのソフトキーは、回線を共有する別の電話機には表示されません。
- 共有回線の電話機でプライバシー機能が無効で、Private Line Automated Ringdown (PLAR) で設定されている場合でも、割り込みと C 割り込み機能は使用できます。
- [割込み]を使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。

## 関連トピック

[会議の参加者リスト](#), (44 ページ)

## プライバシーおよび共有回線





電話回線を共有している場合、プライバシー機能を使用すると、この回線を共有している他者が自分のコールを表示したりコールに割り込んだり（自分自身を追加）しないようにできます。



## ヒント

- 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっていても、共有回線を通常どおり使用して、コールを発信および受信できます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。したがって、複数の共有回線でプライバシー機能を有効にすると、自分が共有している回線すべてにおいて、同僚がコールを表示したりコールに割り込んだりすることを防止できます。

## 他者による共有回線のコールの表示およびコールへの割り込みの許可














### 手順

- ステップ 1** 他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりしないようにするには、次の操作を実行します。
- a) [非通知]  を押します。
  - b) プライバシー機能がオンになっていることを確認するには、オレンジの回線ボタン  の横にある、プライバシー機能が有効のアイコン  を確認します。
- ステップ 2** 他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可するには、次の操作を実行します。
- a) [非通知]  を押します。

- b) プライバシー機能がオフであることを確認するには、点灯していない回線ボタン  の横にある、プライバシー機能が無効のアイコン  を確認します。

## ビジョンランプフィールド機能

ビジョンランプフィールド (BLF) を使用すると、電話機のスピードダイヤルボタン、履歴、またはディレクトリリストに関連付けられた電話回線の状態を確認できます。BLFピックアップを使用すると、モニタ対象の回線で呼び出し中のコールに応答できます。ご使用の電話機に設定される BLF 機能は、システム管理者が決定します。

目的	操作
履歴またはディレクトリに表示されている回線の状態を確認する	<p>回線番号の横にある BLF インジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> 回線は使用中です。</li> <li> 回線はアイドル状態です。</li> <li> 回線はサイレント状態です。</li> <li> この回線では、BLF インジケータは使用できません。</li> </ul>
スピードダイヤル回線の状態を確認する	<p>回線番号の横にある BLF インジケータを確認します。次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> +  : 回線は使用中です。</li> <li> +  : 回線はアイドルです。</li> <li> +  : 回線はサイレント状態です。</li> <li> +  (点滅) : 回線は呼び出し中です (BLF ピックアップのみ)。</li> <li> この回線では、BLF インジケータは使用できません。</li> </ul>

### ヒント


- モニタ対象の回線に呼び出し中のコールがあるときに、電話機がオーディオインジケータを再生して通知できる場合があります (BLF ピックアップのみ)。
- BLF ピックアップは、モニタリング対象の回線に呼び出し中のコールが複数ある場合、呼び出し中のコールの中で最も古いコールから応答します。



- モニタ対象の回線が呼び出し中でないときに BLF ピックアップ ボタンを押すと、電話機はその回線番号にスピードダイヤルします。

## BLF ピックアップを使用した呼び出し中のコールへの応答

### 手順

- 
- ステップ 1** 回線の呼び出し中に BLF ピックアップ ボタン  を押します。  
電話機で使用可能な次の回線にコールがリダイレクトされます。
  - ステップ 2** 回線を指定する場合は、先に回線ボタンを押してから、BLF ボタンを押します。  
電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、自動的にコールが接続されます。
  - ステップ 3** ご使用の電話機でコールの呼び出し音が鳴ったら、応答します。
- 

## セキュアなコール

システム管理者が電話機システムをどのように設定するかによって異なりますが、電話機ではセキュアなコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次のタイプのコールがサポートされます。

### 認証済みコール

コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。

### 暗号化済みコール

電話機では、Cisco Unified Communications Manager ネットワーク内で暗号化された音声（会話）が送受信されています。暗号化済みのコールは認証済みのコールです。

### 保護されたコール

電話機は、Cisco Unified Communications Manager サーバ上でセキュアな（暗号化され信頼された）デバイスであり、Cisco Unified Communications Manager Administration で保護されたデバイスとして設定されています。

Cisco Unified Communications Manager Administration で [セキュア通知トーンの再生] が有効 ([はい]) になっている場合、保護された電話機でコールの開始時にセキュアまたは非セキュア通知トーンが再生されます。

- エンドツーエンドのセキュアメディアがセキュアリアルタイム転送プロトコル (SRTP) によって確立され、コールステータスがセキュアである場合、セキュア通知トーン（短い間隔で 3 回の長いビープ音）が再生されます。
- エンドツーエンドの非セキュアメディアがリアルタイムプロトコル (RTP) によって確立され、コールステータスが非セキュアである場合、非セキュア通知トーン（短い間隔で 6 回の短いビープ音）が再生されます。




[セキュア通知トーンの再生] オプションが無効 ([いいえ]) になっている場合、トーンは再生されません。

### 保護されないコール

電話機のステータスは、Cisco Unified Communications Manager で保護されたデバイスではありません。セキュアまたは非セキュア通知トーンは再生されません。

### 非セキュアなコール

電話機は Cisco Unified Communications Manager サーバ上で保護されず、コールステータスは非セキュアになります。

目的	操作
コールまたは会議のセキュリティレベルを確認する	コールアクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティアイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>•  認証済みコールまたは会議</li> <li>•  暗号化済みコールまたは会議</li> <li>•  非セキュアなコールまたは会議</li> </ul>

目的	操作
電話接続（コール ステータス）がセキュアであることを確認する	<p>コールの開始時にセキュア通知トーンの音を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• セキュアなコールステータス：電話機が保護されており、[セキュア通知トーンの再生]が有効で、コールステータスがセキュアである場合、保護された電話機でコールの開始時にセキュア通知トーン（短い間隔で3回の長いビープ音）が再生されます。また、コールが安全であることを示すロックアイコンが表示されます。</li> <li>• 非セキュアなコールステータス：電話機が保護されており、[セキュア通知トーンの再生]が有効で、コールステータスが非セキュアである場合、保護された電話機でコールの開始時に非セキュア通知トーン（短い間隔で6回の短いビープ音）が再生されます。また、コールが安全でないことを示す再生矢印アイコンが表示されます。 詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</li> </ul>
社内でセキュアなコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。

相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



(注) コールに使用されているデバイスが信頼済みかどうかは、シスコが決定します。コールが安全な場合でも、信頼できないデバイスから発着信したコールのとき、[Cisco Unified IP Phone]画面に鍵アイコンまたはシールドアイコンは表示されません。

## VPN クライアント

仮想プライベート ネットワーク (VPN) 機能は、必要に応じてシステム管理者が設定します。VPN クライアント機能が有効になっており、電話機で VPN クライアント モードが有効の場合、次のような資格情報に関する指示が表示されます。

- 電話機が企業ネットワークの外部にある場合：ログイン時に、システム管理者が電話機に設定した認証方式に基づいて、資格情報を入力するように求められます。
- 電話機が企業ネットワークの内部にある場合：
  - 自動ネットワーク検出が無効の場合、資格情報が求められ、VPN 接続が可能です。

- 自動ネットワーク検出が有効の場合、VPN経由で接続できないため、資格情報の入力を求められることはありません。

VPN の設定にアクセスするには、設定ボタンを押し、[セキュリティ設定]>[VPN の設定] を選択します。

電話機が起動し、VPN ログイン画面が表示されたら、設定された認証方式に基づいて、資格情報を入力します。

- [ユーザ名とパスワード]：システム管理者から入手したユーザ名およびパスワードを入力します。
- [パスワードと証明書]：パスワードを入力します。ユーザ名は証明書から得られます。
- [証明書]：電話機が認証のために証明書だけを使用する場合、認証データを入力する必要はありません。VPN ログイン画面には、VPN 接続を試行している電話機のステータスが表示されます。

パスワードを要求する認証方式では、[<<] ソフトキーを使用して 1 文字戻り、パスワードを修正します。

特定の状況下で電源が失われたり、リセットされたりすると、保存されている資格情報がクリアされます。

VPN 接続を確立するには、[送信] ソフトキーを押します。

VPN ログインプロセスを無効にするには、[キャンセル] ソフトキーを押します。

## 不審なコールのトレース

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に迷惑呼 ID（MCID）機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

### 不審なコールまたは嫌がらせのコール受信のシステム管理者への通知

#### 手順

[迷惑呼] または [迷惑呼 ID] を押します。

電話機でトーンが再生され、「迷惑呼 ID の処理完了」というメッセージが表示されます。管理者が適切な処理を行うことができるように、補足情報が記載された通知が管理者に送信されます。

## プライオリティ コール

この機能は、SCCP 電話機のみでサポートされています。

官庁のような環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

**プライオリティ**

コールに関連付けられた優先度を示します。

**プリエンプション**

プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

目的または状態	操作
発信コールのプライオリティ レベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な呼出音 (通常より速い) または特別なコール待機音が鳴る	プライオリティ (Precedence) コールを受けていることを意味します。コールのプライオリティレベルは、電話スクリーン上の MLPP アイコンによって示されます。
コールのプライオリティ レベルを表示する	電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ■ プライオリティ コール</li> <li>• □ 中程度のプライオリティの (即時) コール</li> <li>• □ プライオリティの高い (フラッシュ) コール</li> <li>• ■ プライオリティの最も高い (フラッシュオーバーライド) コール、つまりエグゼクティブオーバーライドコール</li> </ul> より高いプライオリティのコールが、コールリストの先頭に表示されます。MLPPアイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティレベルは通常 (ルーチン) です。
プライオリティのより高いコールを受け入れる	通常どおりにコールに応答します。必要に応じて、先にアクティブなコールを終了します。
コール中に連続したトーンが聞こえる	自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断し、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。

## ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出音とコール待機音が鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声によるアナウンスでエラーが通知されます。
- 次の場合には、MLPP を使用したコールの優先度と優先ステータスがそのまま維持されます。
  - コールを保留にする
  - コールを転送する
  - コールを 3 者会議に追加する
  - [ピック] を使用してコールに応答する
- MLPP を使用すると、サイレント (DND) 機能が無効になります。

## Cisco エクステンション モビリティ

Cisco エクステンション モビリティ (EM) を使用すると、自分用に Cisco Unified IP Phone を一時的に設定できます。EM にログインすると、電話機に自分のユーザ プロファイル (電話回線、機能、設定されているサービス、Web ベースの設定など) が適用されます。システム管理者は、EM を設定する必要があります。


Extension Mobility Change PIN 機能を使用すると、Cisco Unified IP Phone から PIN を変更できます。

## ヒント

- 一定の時間が過ぎると、EM によって自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者により設定されます。
- Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページを使用して EM プロファイルに加えた変更は、電話機で EM にログインしている場合はすぐに有効になります。ログインしていない場合は、次回ログインしたときに有効になります。
- ユーザ オプション Web ページを使用して電話機に加えた変更は、EM からログアウトしている場合はすぐに有効になります。ログアウトしていない場合は、ログアウトした後に有効になります。
- 電話機によって制限を受けるローカル設定は、EM プロファイルには保存されません。


## EM へのログイン

### 手順

- 
- ステップ 1  > [EM サービス] を選択します（名前は異なる場合があります）。
  - ステップ 2 システム管理者から提供されたユーザ ID と PIN を入力します。
  - ステップ 3 プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
- 


## EM からのログアウト

### 手順

- 
- ステップ 1  > [EM サービス] を選択します（名前は異なる場合があります）。
  - ステップ 2 ログアウトの指示があったら、[はい] を押します。
- 


## [クレデンシャルの変更] サービスを使用した PIN の変更

### 手順

- 
- ステップ 1  > [クレデンシャルの変更] を選択します。
  - ステップ 2 [ユーザ ID] フィールドにユーザ ID を入力します。
  - ステップ 3 [現在の PIN] フィールドに PIN を入力します。
  - ステップ 4 [新しい PIN] フィールドに新しい PIN を入力します。
  - ステップ 5 [PIN の確認] フィールドに新しい PIN を再度入力します。
  - ステップ 6 [変更] を押します。PIN の変更が完了したことを知らせるメッセージが表示されます。
  - ステップ 7 [終了] を押します。
-

## [PIN の変更] ソフトキーを使用した PIN の変更

### 手順

- 
- ステップ 1  > [EM サービス] を選択します。
  - ステップ 2 [PIN の変更] を押します。
  - ステップ 3 [現在の PIN] フィールドに PIN を入力します。
  - ステップ 4 [新しい PIN] フィールドに新しい PIN を入力します。
  - ステップ 5 [PIN の確認] フィールドに新しい PIN を再度入力します。
  - ステップ 6 [変更] を押します。 PIN の変更が完了したことを知らせるメッセージが表示されます。
  - ステップ 7 [終了] を押します。
- 

## 1つの電話番号を使用したビジネス コール

Intelligent Session Control は、携帯電話番号をビジネス電話番号に関連付けます。リモート接続先（携帯電話）へのコールを着信すると、デスクの電話機の呼出音は鳴りません。リモート接続先のみが鳴ります。携帯電話で着信コールに応答すると、デスクの電話機には「リモートで使用中」メッセージが表示されます。

通話中には、任意の携帯電話機能も使用できます。たとえば、携帯電話番号にかかってきたコールを受けた場合にも、デスクの電話に応答できます。また、携帯電話からデスクの電話に、コールをハンドオフすることもできます。

目的	操作
着信のモバイル アクティブ コールをデスクの電話機に転送する。	携帯電話のさまざまな機能を使用します (*74 など)。アクセスコードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

## モバイル コネクトおよびモバイル ボイス アクセス

モバイル コネクトとモバイル ボイス アクセスをインストールしておく、デスクトップの電話番号に関連付けられているコールを携帯電話で処理できます。

デスクトップとリモート接続先でコールを同時に受信します。

デスクトップの電話機でコールに応答すると、リモート接続先の電話機の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。

1つのリモート接続先でコールに応答すると、それ以外のリモート接続先では呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。



目的	操作
モバイルコネクトを設定する	ユーザ オプション Web ページを使用して、リモート接続先を設定し、特定の電話番号からのコールがリモート接続先に渡されるのを許可またはブロックするためのアクセス リストを作成します。詳細については、 <a href="#">モバイル コネクト用の電話機およびアクセス リストの設定</a> 、(109 ページ) を参照してください。
携帯電話でコールに応答する	詳細については、 <a href="#">コールへの応答</a> 、(28 ページ) を参照してください。
進行中のコールをデスクの電話機と携帯電話との間で切り替える	詳細については、 <a href="#">進行中のコールの移動</a> 、(34 ページ) を参照してください。
携帯電話からコールを発信する	詳細については、 <a href="#">その他のコール オプション</a> 、(24 ページ) を参照してください。

#### ヒント

- 次の条件が当てはまる場合は、モバイルボイスアクセスにコールするときに発信番号と PIN を入力する必要があります。
  - 発信している番号がリモート接続先の番号の 1 つでない場合。
  - 通信事業者によって番号がブロックされている（「不明な番号」と表示される）場合。
  - 番号が Cisco Unified Communications Manager のデータベースと完全には一致しない場合。たとえば、ユーザの番号が 510-666-9999 でデータベースに表示されている番号が 666-9999 の場合や、ユーザの番号が 408-999-6666 でデータベースには 1-408-999-6666 と入力されている場合などがこれに当てはまります。
- 要求された情報（携帯電話の番号または PIN）の入力を 3 回連続して誤ると、モバイルボイスアクセス コールから切断され、一定の時間ロックアウトされます。サポートが必要な場合は、システム管理者にお問い合わせください。

## 携帯電話で応答したコールの保留

### 手順

- 
- ステップ 1** [エンタープライズ保留] を押します（名前は異なる場合があります）。  
通話相手は保留状態になります。
- ステップ 2** 携帯電話で、[復帰]（名前は異なる場合があります）を押します。
-

## モバイル ボイス アクセスへの接続

### 手順

---

- ステップ 1** 任意の電話機から、割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。
- ステップ 2** 発信番号（要求された場合）と PIN を入力します。
- 

## 携帯電話からのモバイル コネクトの有効化

### 手順

---

- ステップ 1** 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。
- ステップ 2** （必要に応じて）携帯電話番号および PIN を入力します。
- ステップ 3** 2 を押してモバイル コネクトを有効にします。
- ステップ 4** モバイル コネクト有効化の対象を選択します。設定済みの電話機すべて、または 1 台のみです。
- すべての電話機の場合：2 を押します。
  - 1 台の電話機の場合：1 を入力します。次にリモート接続先として追加する番号を入力し、続けてシャープ (#) を押します。
- 

## 携帯電話からのモバイル コネクトの無効化

### 手順

---

- ステップ 1** 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。
- ステップ 2** （必要に応じて）携帯電話番号および PIN を入力します。
- ステップ 3** 3 を押してモバイル コネクトを無効にします。
- ステップ 4** モバイル コネクト無効化の対象を選択します。設定済みの電話機すべて、または 1 台のみです。
- すべての電話機の場合：2 を押します。
  - 1 台の電話機の場合：1 を入力します。次にリモート接続先として追加する番号を入力し、続けてシャープ (#) を押します。

---

## すべてのリモート接続先へのモバイルコネクタアクセスのデスクトップ電話機での有効化または無効化

### 手順

- 
- ステップ1 [モビリティ]を押して、リモート接続先の現在のステータス（有効または無効）を表示します。
  - ステップ2 [選択]を押して、ステータスを変更します。
  - ステップ3 [終了]を押します。
-





## 第 4 章

# ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォン

電話機と一緒に使用できるオーディオデバイスは、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンです。

ハンドセットが取り上げられたとき、または別のオーディオデバイスが使用中のときに、電話機はオフフックになります。

ハンドセットが受け台に置かれていて別のオーディオデバイスも使用されていないとき、電話機はオンフックになります。




この章は、次の内容で構成されています。

- [ハンドセット, 69 ページ](#)
- [ヘッドセット, 70 ページ](#)
- [スピーカフォン, 72 ページ](#)
- [ヘッドセットまたはスピーカフォンを使用した自動応答, 72 ページ](#)

## ハンドセット



次の表で、ハンドセットの使用方法について説明します。

目的	操作
ハンドセットを使用する	ハンドセットを取り上げると、オフフックになります。受け台に戻すと、オンフックになります。  呼び出す回線は自動的に選択されます。毎回プライマリ回線を選択するオプションについては、システム管理者にお問い合わせください。



目的	操作
コール中に、スピーカフォンまたはヘッドセットに切り替える	 または  を押し、ハンドセットを受け台に戻します。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤルトーンが聞こえているときに  を押します。 以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存] を押します。

## ヘッドセット

電話機では、有線ヘッドセット用に 4 線または 6 線のヘッドセット ジャックがサポートされています。Cisco Unified IP Phone 7945G/7965G/7975G も、ワイヤレス ヘッドセットをサポートしています。ヘッドセットの購入については、[ヘッドセットのサポート](#)、(18 ページ) を参照してください。

ヘッドセットの使用中は、 や  など、電話機のすべてのコントロールにアクセスできます。

ただし、ワイヤレスヘッドセットを使用している場合は、ワイヤレスヘッドセットのマニュアルを参照してください。

目的	操作
ヘッドセット モードのオン/オフを切り替える	 を押します。
ハンドセットに切り替える	ハンドセットを持ち上げます。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに  を押します。 以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存] を押します。


自動応答を使用する場合は、[ヘッドセットまたはスピーカフォンを使用した自動応答](#)、(72 ページ) を参照してください。

## 有線ヘッドセットの側音の制御

ヘッドセットを使用して電話で話す場合、ヘッドセットのマイクによりピックアップされた音が、ヘッドセットのスピーカに送り返される場合があります。これにより、側音と呼ばれる低レベル

のフィードバックが発生します。有線ヘッドセットでは、側音が発生します。側音の設定は、ヘッドセットによって異なります。ご使用の有線ヘッドセットに合わせて、最適な側音レベルを選択する必要があります。側音レベルを下げるには、次の手順を実行します。


#### 手順

- 
- ステップ1**  を押します。
- ステップ2** [初期設定] メニューを使用して、[ヘッドセットの側音] に移動します。
- ステップ3** [ヘッドセットの側音] を選択します。
- ステップ4** いずれかの側音レベルを選択します。
- 高い
  - 標準
  - 低い
  - 非常に低い
  - オフ
- ステップ5** [保存] または [キャンセル] を押します。
- 

## ワイヤレスヘッドセット

Cisco Unified IP Phone 7945G/7965G/7975G は、ワイヤレスヘッドセットをサポートしています。ワイヤレスヘッドセットのリモート機能の使用方法については、ワイヤレスヘッドセットのマニュアルを参照してください。また、ワイヤレスヘッドセットリモートフックスイッチコントロール機能と組み合わせてワイヤレスヘッドセットを使用することがお使いの電話機で可能かどうかをシステム管理者に確認してください。


## ワイドバンドヘッドセット



ワイドバンドをサポートするヘッドセットを使用する場合は、電話機でワイドバンドの設定を有効にすると、オーディオの感度が上がる場合があります（この設定はデフォルトでは無効になっています）。設定にアクセスするには、 > [ユーザ設定] > [オーディオ設定] > [ワイドバンドヘッドセット] を選択します。

[ワイドバンドヘッドセット]設定がグレー表示になっている場合は、この設定は制御できません。システム管理者に、電話機システムがワイドバンドを使用するように設定されているかどうかを確認します。システムがワイドバンド対応に設定されていない場合は、ワイドバンドヘッドセットを使用してもオーディオの感度が上がったとは感じられないことがあります。ヘッドセットの

詳細については、ご使用のヘッドセットのマニュアルを参照するか、システム管理者にお問い合わせください。



## スピーカフォン

ハンドセットが受け台にあり、が点灯していない場合、番号のダイヤルまたはコールの応答で実行できる多くの操作で、スピーカフォンモードが自動的に切り替わります。

目的	操作
スピーカフォンモードのオン/オフを切り替える	 を押します。
ハンドセットに切り替える	ハンドセットを持ち上げます。
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤルトーンが聞こえているときに  を押します。 以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存]を押します。

## ヘッドセットまたはスピーカフォンを使用した自動応答

自動応答機能が有効な場合、呼出音が数回鳴った後、電話機が自動的に応答します。自動応答機能でスピーカフォンとヘッドセットのどちらを使用するかは、システム管理者が設定します。大量の着信コールを受ける場合、自動応答を使用すると便利です。

目的または状態	操作
ヘッドセットで自動応答を使用する	<p>通話中以外も、ヘッドセットモードを有効（つまり、が点灯している状態）にしておきます。</p> <p>ヘッドセットをよりアクティブな状態に保つには、次の操作を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [終了] を押して切断します。</li> <li>• [発信] または [ダイヤル] を押して、新規コールを発信します。</li> </ul> <p>電話機がヘッドセットモードで自動応答を使用するように設定されていると、が点灯している場合に限り、コールが自動的に応答されます。</p> <p>その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>



目的または状態	操作
スピーカフォンで自動応答を使用する	<p>ハンドセットを受け台に置き、ヘッドセットモードを無効 (📞が消灯している状態) にしておきます。</p> <p>その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。</p>

### ヒント

サイレント機能がアクティブな場合、自動応答機能は無効になります。

■ ヘッドセットまたはスピーカフォンを使用した自動応答



## 第 5 章

# 電話機のカスタマイズ

---

呼出音のトーン、背景イメージ、またはその他の設定を調整することにより、Cisco Unified IP Phone の個人設定を行うことができます。

- [呼出音とメッセージインジケータのカスタマイズ, 75 ページ](#)
- [電話スクリーンのカスタマイズ, 77 ページ](#)

## 呼出音とメッセージインジケータのカスタマイズ

電話機で着信コールと新しいボイスメールメッセージがどのように示されるかをカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量を調整できます。

### ヒント


最大 6 種類の呼出音が鳴るように電話機をカスタマイズできます。また、デフォルトの呼出音を設定することもできます。

### 関連トピック

- [ユーザ オプション Web ページの操作, \(95 ページ\)](#)
- [Web での回線設定, \(107 ページ\)](#)

## 回線ごとの呼出音の変更


### 手順

- 
- ステップ1  > [ユーザ設定] > [呼出音] を選択します。
  - ステップ2 電話回線またはデフォルト呼出音設定を選択します。
  - ステップ3 呼出音のトーンを選択してそのサンプルを再生します。
  - ステップ4 [選択]および[保存]を押して、呼出音のトーンを設定します。または、[キャンセル]を押します。
- 

## 電話機の音量レベルの調整

呼出音の最低音量が設定されているかどうかをシステム管理者に確認してください。

### 手順

ハンドセットが受け台に置かれていて、ヘッドセットとスピーカフオンのボタンがオフになっている状態で、を押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。

## 呼出音のパターン（点滅のみ、一度だけ鳴らす、ビープ音のみ）の変更

ユーザがこの設定にアクセスするには、システム管理者がこのアクセスをユーザに対して有効にしておくことが必要な場合があります。

### 手順

- 
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ2 呼出音のパターン設定にアクセスします。
-

## オーディオ ボイス メッセージ インジケータの変更

### 手順

- 
- ステップ1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ2** メッセージ インジケータの設定にアクセスします。
- 

## ハンドセットのボイス メッセージ ランプの動作の変更

### 手順

- 
- ステップ1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ2** [メッセージ受信ランプ ポリシーの変更] を選択します。
- ステップ3** メッセージインジケータの設定にアクセスします。通常、デフォルトのシステムポリシーでは、ハンドセットのライトストリップのランプが点灯することにより、新しいボイスメッセージがあることを示します。
- 

## 電話スクリーンのカスタマイズ

電話スクリーンの特性を調整できます。



目的	操作
スクリーンを有効または無効にする	詳細については、 <a href="#">電話スクリーンのクリーニングとメンテナンス</a> 、(9 ページ) を参照してください。
電話スクリーンの照明をオフにする	システム管理者に連絡し、このオプション機能が使用可能になっているかどうかを確認します。この機能により、電話スクリーンの照明をあらかじめ決めておいた時間（システム管理者が設定）にオフにできます。

## 電話スクリーンの明るさの変更




(注) 電話機の明るさ設定を変更した後、少なくとも1分は電源から切断されないようにします。切断されると、明るさ設定が保存されません。

### 手順

- ステップ1  > [ユーザ設定] > [明るさ] を選択します。
- ステップ2 調整するには、[アップ]、[ダウン] または  を押します。
- ステップ3 [保存] または [キャンセル] を押します。

## 背景画像の変更

### 手順

- ステップ1  > [ユーザ設定] > [背景イメージ] を選択します。
- ステップ2 スクロールして利用可能な画像を表示し、[選択] を押して画像を選択します。  
(注) 画像が表示されない場合、このオプションはご使用の電話機では無効になっています。
- ステップ3 [プレビュー] を押して、背景イメージの拡大表示を確認します。
- ステップ4 [終了] を押して、選択メニューに戻ります。
- ステップ5 [保存] を押して画像を受け入れるか、または [キャンセル] を押します。

## 電話スクリーンの言語の変更

### 手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ2 ユーザ設定にアクセスします。
- ステップ3 言語を選択します。

## 回線テキストラベルの変更



### 手順

- 
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ2 回線テキストラベルの設定にアクセスします。
- 

## 電話スクリーンの表示角度の調節

Cisco Unified IP Phone 7970G/7971G-GE のみでサポートされています。

### 手順

- 
- ステップ1  > [ユーザ設定] > [表示角度の調整] を選択します。
  - ステップ2 調整するには、[アップ]、[ダウン] または  を押します。
  - ステップ3 [保存] または [キャンセル] を押します。
-








## 第 6 章

# 通話履歴とディレクトリ

この項では、履歴およびディレクトリの使用方法について説明します。どちらの機能にアクセスする場合もディレクトリ ボタン  を使用します。

- [通話履歴, 81 ページ](#)
- [ディレクトリ機能, 86 ページ](#)

## 通話履歴

電話機には、不在コール、発信コール、および着信コールを記録したコール履歴が保持されます。電話機に表示される特定の回線の不在コール ディレクトリに、不在コールを記録するかどうかは、システム管理者が決定します。

### ヒント

- (SCCP 電話機/SIP 電話機) お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリにプラス (+) 記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- (SCCP 電話機だけ) マルチパーティ コール (転送されてきたコールなど) の完全なコールレコードを表示するには、該当のコールレコードを強調表示して、[詳細]を押します。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティ コールごとに2つのエントリが、名前と番号とともに表示されます。
  - 最初のエントリ : 直近に完了したマルチパーティ コール
  - 2 番目のエントリ : 最初に完了したマルチパーティ コール
- 特定の回線でコールを発信する前に、通話履歴でその回線がビジーかどうかを確認するには、ビジー ランプ フィールド インジケータを確認します。

## 通話履歴の表示

### 手順

---

ステップ1  を押します。

ステップ2 次のエントリのいずれかを選択します。

- 不在履歴
- 発信履歴
- 着信履歴

各履歴には、最大 100 件のレコードが保存されています。

---

## 1つのコールレコードの詳細表示

### 手順

---

ステップ1  を押します。

ステップ2 次のエントリのいずれかを選択します。

- 不在履歴
- 発信履歴
- 着信履歴

ステップ3 コールレコードを強調表示します。

ステップ4 発信履歴と着信履歴の場合のみ、[詳細] を押して着信番号、発呼番号、時刻、通話時間などの情報を表示します。

---


## すべての履歴からすべてのコールレコードの消去

### 手順

- 
- ステップ1  を押します。
- ステップ2 [クリア] を押します。
- 


## 1つの履歴からすべてのコールレコードの消去

### 手順

- 
- ステップ1  を押します。
- ステップ2 次のエントリのいずれかを選択します。
- 不在履歴
  - 発信履歴
  - 着信履歴
- ステップ3 コールレコードを強調表示します。
- ステップ4 [クリア] を押します。必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[クリア] を表示します。
- 

## 1つのコールレコードの削除

### 手順

- 
- ステップ1  を押します。
- ステップ2 次のエントリのいずれかを選択します。
- 不在履歴
  - 発信履歴
  - 着信履歴

## 通話履歴からのダイヤル（別のコールに接続していない状態）

ステップ3 コールレコードを強調表示します。

ステップ4 [削除] を押します。

---

## 通話履歴からのダイヤル（別のコールに接続していない状態）

## 手順

ステップ1  を押します。

ステップ2 次のエントリのいずれかを選択します。

- 不在履歴
- 発信履歴
- 着信履歴

ステップ3 コールレコードを強調表示します。

（注） [詳細] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。

ステップ4 表示された番号を編集するには、[編集] を押します。次に、[<<] または [>>] を押します。

ステップ5 番号を削除するには、[編集] を押した後、[削除] を押します。必要に応じて、[次へ] ソフトキーを押して、[削除] を表示します。

ステップ6 オフフックにしてコールを発信します。

---

## 通話履歴からのダイヤル（別のコールに接続した状態）

## 手順

ステップ1  を押します。

ステップ2 次のエントリのいずれかを選択します。

- 不在履歴
- 発信履歴
- 着信履歴

ステップ3 コールレコードを強調表示します。



(注) [詳細] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。

- ステップ 4** 表示された番号を編集するには、[編集] を押します。次に、[<<] または [>>] を押します。
- ステップ 5** 番号を削除するには、[編集] を押した後、[削除] を押します。必要に応じて、[次へ] ソフトキーを押して、[削除] を表示します。
- ステップ 6** [ダイヤル] を押します。
- ステップ 7** 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。
- [保留] : 最初のコールを保留にし、2 番目のコールをダイヤルします。
  - [転送] : 最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します。操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します。
  - [会議] : 自分も含めすべての通話相手との間で会議コールを作成します。操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] をもう一度押します。
  - [終了] : 最初のコールを切断し、2 番目のコールをダイヤルします。

## 通話履歴内の URL エントリからのコールの発信


SIP 電話のみでサポートされています。

### 手順

- ステップ 1**  を押します。
- ステップ 2** 次のエントリのいずれかを選択します。
- 不在履歴
  - 発信履歴
  - 着信履歴
- ステップ 3** ダイヤルする URL エントリを強調表示します。
- ステップ 4** エントリを編集する必要がある場合は、[編集] を押します。  
 アイコンが表示され、URL エントリの文字の編集を開始できることを示します。
- ステップ 5** [ダイヤル] を押します。

## 不在履歴および着信履歴からの国際コールのリダイヤル

### 手順

- 
- ステップ 1**  を押します。
- ステップ 2** 次のエントリのいずれかを選択します。
- 不在履歴
  - 着信履歴
- ステップ 3** リダイヤルするコール レコードを強調表示します。
- ステップ 4** [編集] を押します。
- ステップ 5** 米印 (\*) キーを 1 秒以上押したままにして、プラス (+) 記号を電話番号の最初の桁として追加します。  
+ 記号は番号の最初の桁としてのみ追加できます。
- ステップ 6** [ダイヤル] を押します。
- 

## ディレクトリ機能

設定に応じて、電話機で、社内ディレクトリ機能およびパーソナルディレクトリ機能をサポートできます。

- 社内ディレクトリ：ご使用の電話機でアクセスできる社内の連絡先です。社内ディレクトリの設定および保守は、システム管理者によって行われます。
- パーソナルディレクトリ：使用可能な場合、ご使用の電話機および Cisco Unified Communications Manager のユーザ オプション Web ページから設定およびアクセスできる個人用連絡先および関連付けられたスピードダイヤルコードです。パーソナルディレクトリは、個人アドレス帳 (PAB) とファストダイヤルで構成されます。
  - PAB は、個人用連絡先のディレクトリです。
  - ファストダイヤルでは、すばやくダイヤルできるように、コードを PAB エントリに割り当てることができます。

## 社内ディレクトリ


社内ディレクトリを使用して、同僚にコールを発信できます。

### ヒント

- キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーションボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。
- ディレクトリ内の電話回線がビジーかどうかを確認するには、ビジーランプフィールドインジケータを確認します。


## 社内ディレクトリからのダイヤル（別のコールに接続していない状態）

### 手順

- 
- ステップ 1**  > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。
- ステップ 2** キーパッドを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索] を押します。
- ステップ 3** ダイヤルするには、リスト項目を選択するか、リスト項目までスクロールしてハンドセットを取り上げます。
- 

## 社内ディレクトリからのダイヤル（別のコールに接続している状態）

### 手順

- 
- ステップ 1**  > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。
- ステップ 2** キーパッドを使用して、名前の全部、または一部を入力し、[検索] を押します。
- ステップ 3** リストをスクロールして、[ダイヤル] を押します。
- ステップ 4** 元のコールの処理に対応するメニュー項目を、次の中から選択します。
- [保留]：最初のコールを保留し、2 番目のコールをダイヤルします。
  - [転送]：最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します。操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します。
  - [会議]：自分を含むすべての通話参加者との会議コールを作成します。操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] をもう一度押します。
  - [終了]：最初のコールを切断し、2 番目のコールをダイヤルします。
-

## パーソナルディレクトリ


パーソナルディレクトリ フィーチャセットには、個人アドレス帳 (PAB) とファストダイヤルが含まれています。この項では、電話機でのパーソナルディレクトリの設定方法および使用方法について説明します。 [Web でのパーソナルディレクトリ](#)、(97 ページ) も参照してください。

### ヒント

- ユーザがパーソナルディレクトリにログインするために必要なユーザ ID および PIN は、システム管理者が提供します。
- パーソナルディレクトリでは、一定の時間が過ぎると自動的にログアウトされます。この時間制限は、設定によって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- キーパッドの番号を使用して、電話スクリーンの文字を入力します。電話機のナビゲーション ボタンを使用して、入力フィールド間を移動します。
- お使いの電話機に国際コールのロギングを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリにプラス (+) 記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## パーソナルディレクトリへのアクセス (PAB およびファストダイヤルコードの検索のため)

### 手順

- 
- ステップ 1  > [パーソナルディレクトリ] を選択します (名前は異なる場合があります)。
- ステップ 2 Cisco Unified Communications Manager のユーザ ID と PIN を入力し、[送信] を押します。
-



## PAB エントリの検索

### 手順

- 
- ステップ1 パーソナルディレクトリにアクセスします。
  - ステップ2 [個人アドレス帳] を選択します。
  - ステップ3 検索条件を入力し、[送信] を押します。
  - ステップ4 [前へ] または [次へ] を使用してリスト間を移動します。
  - ステップ5 必要な PAB リスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
- 

## PAB エントリからのダイヤル

### 手順

- 
- ステップ1 リスト項目を検索します。
  - ステップ2 そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
  - ステップ3 [ダイヤル] を押します。必要に応じて、[次へ] ソフトキーを押して、[ダイヤル] を表示します。
  - ステップ4 参加者の電話番号を入力します。
  - ステップ5 ダイヤルする番号を強調表示し、[OK] を押します。
  - ステップ6 もう一度 [OK] を押して、その番号にダイヤルします。
- 

## PAB エントリの削除

### 手順

- 
- ステップ1 リスト項目を検索します。
  - ステップ2 そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
  - ステップ3 [削除] を押します。
  - ステップ4 [OK] を選択して、削除することを確認します。
-

## PAB エントリの編集

### 手順

- 
- ステップ1 リスト項目を検索します。
  - ステップ2 そのリスト項目を強調表示し、[編集] を押して名前または電子メールアドレスを修正します。
  - ステップ3 必要に応じて、[電話] を選択して電話番号を修正します。
  - ステップ4 [更新] を押します。
- 

## 新規 PAB エントリの追加

### 手順

- 
- ステップ1 パーソナルディレクトリにアクセスします。
  - ステップ2 [個人アドレス帳] を選択します。
  - ステップ3 [送信] を押して [検索] ページにアクセスします。最初に検索情報を入力する必要はありません。
  - ステップ4 [新規] を押します。
  - ステップ5 電話機のキーパッドを使用して、名前と電子メール情報を入力します。
  - ステップ6 [電話] を選択し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセスコード（9 や 1 など）を必ず含めます。
  - ステップ7 [送信] を選択して、エントリをデータベースに追加します。
- 


## PAB エントリへのファストダイヤルコードの割り当て

### 手順

- 
- ステップ1 PAB エントリを検索します。
  - ステップ2 そのリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
  - ステップ3 [ファストダイヤル] を押します。
  - ステップ4 ダイヤルする番号を強調表示し、[選択] を押します。
  - ステップ5 番号に割り当てる未割り当てのファストダイヤルコードを強調表示し、[選択] を押します。
-


## ファストダイヤルコードの追加（PAB エントリを使用しない）

### 手順

- 
- ステップ1  > [パーソナルディレクトリ] > [個人ファストダイヤル] を選択します。
  - ステップ2 [ファストダイヤル] を押します。
  - ステップ3 割り当てられていないファストダイヤルコードを強調表示し、[選択] を押します。
  - ステップ4 [割り当て] を押します。
  - ステップ5 電話番号を入力します。
  - ステップ6 [更新] を押します。
- 

## ファストダイヤルコードの検索

### 手順

- 
- ステップ1  > [パーソナルディレクトリ] > [個人ファストダイヤル] を選択します。
  - ステップ2 [前へ] または [次へ] を使用してリスト間を移動します。
  - ステップ3 必要なリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
- 

## ファストダイヤルコードを使用したコールの発信

### 手順

- 
- ステップ1 ファストダイヤルコードを検索します。
  - ステップ2 必要なリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
  - ステップ3 [ダイヤル] を押します。
  - ステップ4 [OK] を選択して、操作を完了します。
-

## ファストダイヤルコードの削除

### 手順


---

- ステップ1 ファストダイヤルコードを検索します。
  - ステップ2 必要なリスト項目を強調表示し、[選択]を押します。
  - ステップ3 [削除]を押します。
- 

## パーソナルディレクトリからのログアウト

### 手順

---

- ステップ1  > [パーソナルディレクトリ]を選択します（名前は異なる場合があります）。
  - ステップ2 [ログアウト]を選択します。
-



## 第 7 章

# ボイス メッセージ


この章の内容は、次のとおりです。

- [ボイス メッセージへのアクセス, 93 ページ](#)

## ボイス メッセージへのアクセス

ボイス メッセージにアクセスするには、メッセージ ボタン  を押します。

電話機で使用するボイスメッセージサービスは、会社によって決定されます。詳細については、ボイスメッセージ サービスに付属のマニュアルを参照してください。

- ボイス メッセージがある場合は、次の表示を確認します。
  - ハンドセットの赤いランプの点灯（インジケータの種類はそれぞれ異なります）。
  - メッセージ受信アイコン  の点滅、および電話スクリーンのテキスト メッセージ。



(注) 赤いランプとメッセージ受信アイコンは、プライマリ回線にボイス メッセージがある場合にのみ表示されます。プライマリ回線以外でボイス メッセージを受信しても表示されません。

- ボイス メッセージがある場合、音声で次のように通知されます。
  - コールを発信したときにハンドセット、ヘッドセットまたはスピーカフォンからスタタ音が聞こえます。

断続トーンは回線ごとに異なります。この音が聞こえるのは、使用中の回線でメッセージを受信した場合のみです。
- コールをボイス メッセージ システムに送信するには、[即転送] を押します。


### 関連トピック

[ボイスメッセージシステムへのコールの転送](#)

[呼出音とメッセージインジケータのカスタマイズ, \(75 ページ\)](#)


## ボイスメッセージサービスの個人設定

### 手順

- 
- ステップ 1**  を押し、音声の指示に従います。
- ステップ 2** スクリーンにメニューが表示された場合は、該当するメニュー項目を選択します。
- 

## ボイスメッセージの確認またはボイスメッセージメニューへのアクセス

### 手順

- 
- ステップ 1**  を押し、音声の指示に従います。
- ステップ 2** スクリーンにメニューが表示された場合は、該当するメニュー項目を選択します。ボイスメッセージサービスに接続すると、ボイスメッセージがある回線がデフォルトで選択されます。複数の回線にボイスメッセージがある場合は、最初の使用可能な回線が選択されます。
- 毎回プライマリ回線上のボイスメッセージサービスに接続する場合は、オプションについてシステム管理者にお問い合わせください。
-



## 第 8 章

# ユーザ オプション Web ページ

Cisco Unified IP Phone は、社内のパーソナル コンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有することのできるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページにログインできます。このページから、Cisco Unified IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページからスピードダイヤル ボタンを設定できます。

この章は、次の内容で構成されています。

- [ユーザ オプション Web ページの操作, 95 ページ](#)
- [Web での機能およびサービスの設定, 97 ページ](#)

## ユーザ オプション Web ページの操作

この項では、ログイン方法と電話機デバイスの選択方法について説明します。

## ユーザ オプション Web ページへのログイン、ログアウト

スピードダイヤル設定や個人アドレス帳などのユーザオプションを使用するには、ログインする必要があります。ユーザ オプション Web ページの使用を終えたら、ログアウトする必要があります。

ログインしなくても、ユーザ オプション Web ページにアクセスできる場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

### 手順

- 
- ステップ 1** ユーザ オプションの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードは、システム管理者にお問い合わせください。
- ステップ 2** コンピュータで Web ブラウザを開き、URL を入力します。
- ステップ 3** セキュリティ設定を許可するプロンプトが表示されたら、[はい] または [証明書のインストール] を選択します。
- ステップ 4** [ユーザ名] フィールドにユーザ ID を入力します。
- ステップ 5** [パスワード] フィールドにパスワードを入力します。
- ステップ 6** [ログイン] を選択します。  
[Cisco Unified CM のユーザオプション] ホーム ページが表示されます。このページから [ユーザオプション] を選択すると、デバイスを選択してユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、ファストダイヤルにアクセスできます。
- ステップ 7** ユーザ オプション Web ページからログアウトするには、[ログアウト] を選択します。
- 

## ユーザ オプション Web ページでのデバイスの選択

### 手順

- 
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。  
[デバイス設定] ウィンドウが表示されます。[デバイス設定] ウィンドウの最上部に表示されるツールバー ボタンは、選択したデバイスの種類によって異なります。
- ステップ 2** (任意) 複数のデバイスを割り当てられている場合は、適切なデバイス (電話機のモデル、エクステンションモビリティプロファイル、またはリモート接続先プロファイル) を [名前] ドロップダウンメニューから選択します。
- 

## ログイン後の設定オプションの選択

### 手順

- 
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページにログインした後、[ユーザオプション] を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ、個人アドレス帳、ファストダイヤル、およびモビリティ設定にアクセスします。
- ステップ 2** 他のページから [デバイス設定] ページに戻るには、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
-



## Web での機能およびサービスの設定

この項の各トピックでは、ログイン後にユーザオプション Web ページから機能とサービスを設定する方法について説明します。

### 関連トピック

[ユーザ オプション Web ページの操作](#), (95 ページ)

## Web でのパーソナル ディレクトリ

ユーザのコンピュータからアクセス可能なパーソナル ディレクトリ フィーチャ セットは、次の要素で構成されています。

- 個人アドレス帳 (PAB)
- ファスト ダイヤル
- Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer

PAB およびファストダイヤルには、電話機からもアクセスできます。詳細については、[パーソナル ディレクトリ](#), (88 ページ) を参照してください。

この項では、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用する方法について説明します。

### 個人アドレス帳エントリの新規追加

#### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [個人アドレス帳] を選択します。
  - ステップ 3 [新規追加] を選択します。
  - ステップ 4 エントリの情報を入力します。
  - ステップ 5 [保存] を選択します。
-

## ボタンへの個人アドレス帳の割り当て

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
  - ステップ 3 [名前] ドロップダウン メニューから電話を選択します。
  - ステップ 4 [サービス URL] を選択します。  
システム管理者はサービスを表示するように電話機を設定します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
  - ステップ 5 [ボタン] ドロップダウン リスト ボックスで [個人アドレス帳] サービスを選択します。
  - ステップ 6 ボタンの電話ラベルを入力します。
  - ステップ 7 [保存] を選択します。
  - ステップ 8 [リセット] を選択してから [リスタート] を選択し、電話の設定を更新します。  
これでボタンを押すと PAB コードにアクセスできるようになります。
- 

## 個人アドレス帳エントリの検索

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [個人アドレス帳] を選択します。
  - ステップ 3 検索情報を指定して、[検索] を選択します。
- 

## 個人アドレス帳エントリの編集

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 PAB エントリを検索します。
  - ステップ 3 ニックネームを選択します。
  - ステップ 4 必要に応じてエントリを編集し、[保存] を選択します。
-

## 個人アドレス帳エントリの削除

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 PAB エントリを検索します。
  - ステップ 3 1 つまたは複数のエントリを選択します。
  - ステップ 4 [選択項目の削除] を選択します。
- 

## Web でのファスト ダイヤル

この項では、ユーザ オプション Web ページからファスト ダイヤルを割り当てる方法について説明します。



- 
- (注) 回線ボタンをファスト ダイヤルに割り当てるには、電話機でサービスが表示されるようにシステム管理者が事前に設定する必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- 

### ヒント

- 最大 500 個のファスト ダイヤルおよび個人アドレス帳 (PAB) のエントリを作成できます。
- PAB エントリを使用しなくても、新規のファスト ダイヤル エントリを作成できます。これらのファスト ダイヤル エントリには、ユーザ オプション Web ページでは、「raw」というラベルが付けられます。設定可能なテキスト ラベルは表示されません。

## 個人アドレス帳エントリへのファストダイヤルコードの割り当て

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
  - ステップ 3 [新規追加]を選択します。
  - ステップ 4 [検索オプション]領域を使用して、該当する PAB エントリを検索します。
  - ステップ 5 [検索結果]領域の電話番号をクリックします。
  - ステップ 6 必要に応じて、ファストダイヤルコードを変更します。
  - ステップ 7 [保存]を選択します。
- 

## 電話番号へのファストダイヤルコードの割り当て

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション]>[ファストダイヤル]を選択します。
  - ステップ 3 [新規追加]を選択します。
  - ステップ 4 必要に応じて、ファストダイヤルコードを変更します。
  - ステップ 5 電話番号を入力します。
  - ステップ 6 [保存]を選択します。
- 

## 回線ボタンのファストダイヤルへの割り当て



- 
- (注) 回線ボタンをファストダイヤルに割り当てるには、電話機でサービスが表示されるようにシステム管理者が事前に設定する必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
-

## 手順

---

- ステップ 1 [ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
  - ステップ 2 [サービス URL] をクリックします。
  - ステップ 3 [ボタン] ドロップダウン リスト ボックスで [ファスト ダイヤル] サービスを選択します。
  - ステップ 4 ボタンの電話ラベルを入力します。
  - ステップ 5 [保存] をクリックします。
  - ステップ 6 [リセット] をクリックしてから、[リスタート] をクリックします。電話機の設定が更新されます。回線ボタンを押してファスト ダイヤル コードにアクセスできるようになります。
- 

## ファスト ダイヤル エントリの検索

### 手順

---

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション]>[ファスト ダイヤル] を選択します。
  - ステップ 3 検索情報を指定して、[検索] を選択します。
- 

## ファスト ダイヤル 電話番号の編集

### 手順

---

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション]>[ファスト ダイヤル] を選択します。
  - ステップ 3 編集するファスト ダイヤル エントリを検索します。
  - ステップ 4 エントリのコンポーネントを選択します。
  - ステップ 5 電話番号を変更します。
  - ステップ 6 [保存] を選択します。
-

## 個人アドレス帳のファストダイヤルエントリの削除

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web オプションで、ファストダイヤルエントリを検索します。
  - ステップ 2 1 つまたは複数のエントリを選択します。
  - ステップ 3 [選択項目の削除] を選択します。
- 

## アドレス帳同期ツール

アドレス帳同期ツール (TABSynch) を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳を (適切な場合は) PAB と同期できます。同期後は、Cisco Unified IP Phone およびユーザ オプション Web ページで、Microsoft Windows アドレス帳のエントリにアクセスできるようになります。TABSynch へのアクセスおよび使用方法の詳しい説明は、システム管理者から提供されます。

## Web でのスピードダイヤルの設定

設定に応じて、電話機で、複数のスピードダイヤル機能をサポートできます。

- スピードダイヤル ボタン
- 短縮ダイヤル
- ファストダイヤル

ファストダイヤルを設定する方法については、[Web でのファストダイヤル](#)、(99 ページ) を参照してください。ファストダイヤルは、電話機からも設定できます。詳細については、[パーソナルディレクトリ](#)、(88 ページ) を参照してください。



- 
- (注) スピードダイヤル機能の使用方法については、[スピードダイヤル](#)、(47 ページ) を参照してください。
-

## スピードダイヤル ボタンの設定

### 手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ 2 [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。
- ステップ 3 [スピードダイヤル] を選択します。
- ステップ 4 [スピードダイヤル設定] 領域で、電話機のスピードダイヤル ボタンの番号とラベルを入力します。
- ステップ 5 [保存] を選択します。

## 短縮ダイヤル コードの設定

### 手順


- ステップ 1 [ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ 2 [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。
- ステップ 3 [スピードダイヤル] をクリックします。
- ステップ 4 短縮ダイヤル コードの番号とラベルを入力します。
- ステップ 5 [保存] をクリックします。

## Web での電話機サービスの設定


電話機サービスには、特別な電話機機能、ネットワークデータ、および Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）が含まれます。電話サービスにアクセスする前に、まず電話サービスに登録する必要があります。

ログインした後に、次のいずれかのボタンを使用してご使用の電話機のサービスにアクセスします。

- 電話機のプログラマブル ボタン：

-  (☎) > [サービス]

- 機能ボタン：

-  メッセージ

- °  サービス
- °  ディレクトリ

電話機で使用できるサービスは、電話機のシステム設定および登録したサービスによって異なります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

設定されているサービスが 1 つだけの場合、そのサービスがデフォルトで開かれます。

設定されているサービスが複数の場合、スクリーンのメニューからオプションの 1 つを選択します。

## サービスへの登録

### 手順

---

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
  - ステップ 2 [名前] ドロップダウンメニューから電話を選択します。
  - ステップ 3 [IP Phone サービス] を選択します。
  - ステップ 4 [新規追加] を選択します。
  - ステップ 5 ドロップダウンリストからサービスを選択し、[次へ] をクリックします。
  - ステップ 6 (任意) 可能な場合はサービス ラベルを変更したり追加のサービス情報を入力したりします。
  - ステップ 7 [保存] を選択します。
- 

## サービスの検索

### 手順

---

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、デバイスを選択します。
  - ステップ 2 [IP Phone サービス] を選択します。
  - ステップ 3 [検索] を選択します。
-



## サービスの変更または解除

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、サービスを検索します。
  - ステップ 2 1 つまたは複数のエントリを選択します。
  - ステップ 3 [選択項目の削除] を選択します。
- 

## サービス名の変更

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、サービスを検索します。
  - ステップ 2 サービス名を選択します。
  - ステップ 3 情報を変更して [保存] を選択します。
- 

## プログラマブル機能ボタンへのサービスの追加

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
  - ステップ 2 [名前] ドロップダウンメニューから電話を選択します。
  - ステップ 3 [サービス URL] を選択します。  
電話機のサービス URL ボタンは、システム管理者が設定します。
  - ステップ 4 [ボタンサービス] ドロップダウンリストからサービスを選択します。
  - ステップ 5 (任意) サービスの名前を変更する場合は、ラベルフィールドを編集します。  
電話機が、2 バイト文字セットをサポートしていない場合、ASCII ラベルフィールドが使用されます。
  - ステップ 6 [保存] を選択します。
  - ステップ 7 [リセット] を選択して電話機をリセットし、電話機に新しいボタン ラベルを表示させます。
-

## Web でのユーザ設定

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

PIN およびパスワードを使用して、さまざまな機能およびサービスにアクセスできます。たとえば、PIN は、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたはパーソナルディレクトリにログインするために使用します。パスワードは、パーソナル コンピュータでユーザ オプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインするために使用します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

### ブラウザのパスワードの変更

#### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [ユーザ設定] を選択します。
  - ステップ 3 現在のパスワードを入力します。
  - ステップ 4 新しいパスワードを入力します。
  - ステップ 5 [パスワードの確認] フィールドに新しいパスワードを再度入力します。
  - ステップ 6 [保存] を選択します。
- 

### PIN の変更

#### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション] > [ユーザ設定] を選択します。
  - ステップ 3 現在の PIN を入力します。
  - ステップ 4 新しい PIN を入力します。
  - ステップ 5 [PIN の確認] フィールドに新しい PIN を再度入力します。
  - ステップ 6 [保存] を選択します。
-

## ユーザ オプション Web ページの言語設定の変更

### 手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ 2 [ユーザ オプション] > [ユーザ設定] を選択します。
- ステップ 3 [ユーザロケール] 領域で [ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。
- ステップ 4 [保存] を選択します。

## 電話機のディスプレイの言語の変更

### 手順

- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ 2 [ユーザ オプション] > [デバイス] を選択します。
- ステップ 3 [ユーザロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。
- ステップ 4 [保存] を選択します。

## Web での回線設定

回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線の設定には、コール転送、ボイス メッセージのインジケータ、呼出音のパターン、回線ラベルなどが含まれます。

電話機で他の回線の設定値を直接設定できます。次の設定が可能です。

- プライマリ電話回線にコール転送を設定します。
- 呼出音、表示、その他の電話機モデル固有の設定を変更します。

### 関連トピック

[コール転送, \(37 ページ\)](#)

[電話機のカスタマイズ, \(75 ページ\)](#)

## 回線ごとのコール転送の設定

### 手順

- 
- ステップ 1 [ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
  - ステップ 2 [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。
  - ステップ 3 [回線の設定] をクリックします。
  - ステップ 4 電話機に複数の電話番号（回線）が割り当てられている場合は、[回線] ドロップダウン メニューから回線を選択します。
  - ステップ 5 [着信コールの転送] 領域で、さまざまな状況に対してコール転送設定を選択します。
  - ステップ 6 [保存] をクリックします。
- 

## 回線ごとのボイス メッセージ インジケータ 設定の変更

### 手順

- 
- ステップ 1 [ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
  - ステップ 2 [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。
  - ステップ 3 [回線の設定] をクリックします。
  - ステップ 4 電話機に複数の電話番号（回線）が割り当てられている場合は、[回線] ドロップダウン メニューから回線を選択します。
  - ステップ 5 [メッセージ受信ランプ] 領域で、さまざまな設定から選択します。  
(注) 通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライトストリップの赤いランプが点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。
  - ステップ 6 [保存] をクリックします。
-

## 回線ごとのオーディオ ボイス メッセージ インジケータの設定変更

### 手順

- ステップ 1 [ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ 2 [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。
- ステップ 3 [回線の設定] をクリックします。
- ステップ 4 電話機に複数の電話番号（回線）が割り当てられている場合は、[回線] ドロップダウン メニューから回線を選択します。
- ステップ 5 [オーディオメッセージ受信インジケータ] 領域で、さまざまな設定から選択します。  
(注) 通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライトストリップの赤いランプが点灯することにより、新しいボイス メッセージがあることを示します。
- ステップ 6 [保存] をクリックします。

## 電話スクリーンに表示される回線テキスト ラベルの変更または作成

### 手順

- ステップ 1 [ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ 2 [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。
- ステップ 3 [回線の設定] をクリックします。
- ステップ 4 電話機に複数の電話番号（回線）が割り当てられている場合は、[回線] ドロップダウン メニューから回線を選択します。
- ステップ 5 [回線のテキスト ラベル] 領域に、テキスト ラベルを入力します。
- ステップ 6 [保存] をクリックします。  
(注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は、ASCII ラベルフィールドを使用します。

## モバイルコネクト用の電話機およびアクセス リストの設定

携帯電話（およびご使用のその他の電話）をシスコモバイルコネクトに追加してからでないと、デスクの電話と同じディレクトリ番号を使用したコールの発信および受信はできません。このような電話機をリモート接続先と呼びます。また、アクセスリストを定義して、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可することもできます。

## アクセスリストの作成

### 手順

- 
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ 2** [ユーザ オプション] > [モビリティ設定] > [アクセス リスト] を選択します。
- ステップ 3** [新規追加] を選択します。
- ステップ 4** アクセス リストを識別する名前と説明 (オプション) を入力します。
- ステップ 5** 指定されたコールをアクセス リストで許可するのか、ブロックするのかを選択します。
- ステップ 6** [保存] を選択します。
- ステップ 7** [メンバの追加] を選択すると、リストに電話番号やフィルタを追加できます。
- ステップ 8** [フィルタマスク] ドロップダウンリストボックスからオプションを選択します。電話番号、発信者 ID が制限されている (使用不可) コール、発信者 ID 非通知 (非通知) のコールをフィルタすることができます。
- ステップ 9** [フィルタマスク] ドロップダウン リストボックスから電話番号を選択する場合、[DN マスク] フィールドに電話番号またはフィルタを入力します。  
フィルタを定義するときは、次のワイルドカードを使用できます。
- X (大文字または小文字) : 任意の 1 桁に相当します。たとえば、408555123X は 4085551230 から 4085551239 までのすべての番号に一致します。
  - !: 任意の桁数に相当します。たとえば、408! は 408 で始まるすべての番号に一致します。
  - #: 完全一致の 1 桁として使用します。
- ステップ 10** アクセス リストにこのメンバーを追加するには、[保存] を選択します。
- ステップ 11** アクセス リストを保存するには、[保存] を選択します。
- 

## 新しいリモート接続先の追加

### 手順

- 
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページにログインします。
- ステップ 2** [ユーザオプション] > [モビリティ設定] > [リモート接続先] を選択します。
- ステップ 3** [新規追加] を選択します。
- ステップ 4** 次の情報を入力します。
- [名前]: 携帯 (またはその他の) 電話の名前を入力します。
  - [接続先番号]: 携帯電話番号を入力します。

- ステップ 5** ドロップダウン リスト ボックスからリモート接続先プロファイルを選択します。リモート接続先プロファイルには、作成したリモート接続先に適用される設定が指定されています。
- ステップ 6** [携帯電話] チェックボックスをオンにすると、リモート接続先がデスクの電話機から送信されるコールを受信できるようになります。
- ステップ 7** [モバイル コネクトの有効化] チェックボックスをオンにすると、リモート接続先をデスクの電話機と同時に呼び出すことができますようになります。
- ステップ 8** [呼び出しスケジュール] 領域で次のいずれかのオプションを選択します（呼び出しスケジュールのドロップダウンリストボックスには、自分が作成したアクセスリストだけが表示されます）。
- [常に]：曜日や時刻を制限せずにリモート接続先で着信音を鳴らす場合は、このオプションを選択します。
  - [次に指定されたとおり]：曜日や時刻に基づいて呼び出しスケジュールを設定する場合にこのオプションを選択し、次の項目から選択します。
    - 1 リモート接続先の呼び出しを許可する各曜日のチェックボックスをオンにします。
    - 2 それぞれの曜日について、[終日] を選択するか、ドロップダウン リストから開始時刻と終了時刻を選択します。
    - 3 ドロップダウン リスト ボックスからタイム ゾーンを選択します。
- ステップ 9** 以下の着信音オプションから 1 つ選択します。
- [常にこの接続先を呼び出す]
  - [選択した許可アクセス リストに発信者が含まれる場合にのみ、この接続先を呼び出す]
  - [選択したブロック アクセス リストに発信者が含まれる場合には、この接続先を呼び出さない]
- ステップ 10** [保存] を選択します。

## Cisco WebDialer

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目をクリックすることで、ディレクトリ内の連絡先へのコールを Cisco Unified IP Phone で発信できます。この機能はシステム管理者が設定します。

## ユーザオプションディレクトリでの WebDialer の使用

### 手順

- 
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
  - ステップ 2 [ユーザ オプション]>[ディレクトリ] を選択して同僚を検索します。
  - ステップ 3 ダイヤルする番号をクリックします。
  - ステップ 4 WebDialer を初めて使用する場合は、[Cisco WebDialer - コールの開始] ページで初期設定を行います。
  - ステップ 5 [ダイヤル] をクリックします。  
これで電話機からコールが発信されます。
  - ステップ 6 コールを終了するには、[終了] をクリックするか、電話機から切断します。
- 

## 別のオンライン社内ディレクトリ（ユーザのユーザオプションディレクトリではないもの）での WebDialer の使用

### 手順

- 
- ステップ 1 WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。
  - ステップ 2 ダイヤルする番号をクリックします。
  - ステップ 3 プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。
  - ステップ 4 WebDialer を初めて使用する場合は、[Cisco WebDialer - コールの開始] ページで初期設定を行います。
  - ステップ 5 [ダイヤル] をクリックします。  
これで電話機からコールが発信されます。
  - ステップ 6 コールを終了するには、[終了] をクリックするか、電話機から切断します。
- 

## WebDialer からのログアウト


### 手順

[Cisco WebDialer - コールの開始] ページまたは [Cisco WebDialer - 終了] ページの [ログアウト] アイコンをクリックします。



## WebDialer の初期設定の設定、表示、または変更

### 手順

- 
- ステップ 1** [Cisco WebDialer - コールの開始] ページにアクセスします。  
[Cisco WebDialer - コールの開始] ページは、WebDialer を初めて使用するとき（ダイヤルする番号をクリックした後）に表示されます。
- ステップ 2** (オプション) 設定を変更します。  
[Cisco WebDialer - コールの開始] ページには、次のオプションがあります。
- [優先する言語] : WebDialer の設定およびプロンプトで使用される言語を決定します。
  - [優先するデバイスを使用する] : WebDialer コールを発信するときに使用する Cisco Unified IP Phone (発信デバイス) およびディレクトリ番号 (発信デバイスまたは回線) を特定します。1 本の回線を持つ電話機を 1 台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線を選択します。複数の電話機を使用している場合、デバイスの種類および MAC アドレスで指定します。電話機の MAC アドレスを表示するには、 > [設定] > [ネットワークの設定] > [MAC アドレス] を選択します。  
(注) エクステンション モビリティ プロファイルがある場合、発信デバイスのメニューから、エクステンション モビリティ ログイン デバイスを選択できます。
  - [コールの確認ダイアログを表示しない] : 選択した場合、WebDialer が [Cisco WebDialer - コールの開始] ページを表示しないように要求されます。デフォルトでは、このページは、WebDialer が有効なオンラインディレクトリの電話番号をクリックした後に表示されます。
  - [自動終了の無効化] : これを選択すると、コールウィンドウが 15 秒後に自動的に閉じられなくなります。
-





## 第 9 章

# その他のオプション

- ・ 一部の設定オプションの概要, 115 ページ

## 一部の設定オプションの概要

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、システム管理者と相談するときに役立ちます。

この表に記載されている電話ガイドとその他のマニュアルについては、次の Web サイトから入手できます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html)

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
電話回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
電話回線が 1 本では足りない	1 つ以上の追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
スピードダイヤル ボタンが足りない	<p>まず、現在利用可能なスピードダイヤル ボタンをすべて使用しているかどうかを確認します。</p> <p>追加のスピードダイヤル ボタンが必要な場合は、短縮ダイヤル機能の使用またはファストダイヤルサービスへの登録を検討してください。</p> <p>または、Cisco Unified IP Phone Expansion Module を電話機に接続してください。</p> <p>(注) Cisco Unified IP Phone 7945G は、Cisco Unified IP Phone Expansion Module をサポートしていません。</p>	<p>次の各項を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">スピードダイヤル</a>, (47 ページ)</li> <li>• 『Cisco Unified IP Phone Expansion Module 7914 Phone Guide』</li> <li>• 『Cisco Unified IP Phone Expansion Module 7915 Phone Guide』</li> <li>• 『Cisco Unified IP Phone Expansion Module 7916 Phone Guide』</li> </ul>
秘書と仕事をしている、または自分が秘書である	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Manager Assistant</li> <li>• 共有回線</li> </ul>	<p>次の各項を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">共有回線</a>, (53 ページ)</li> <li>• 『Cisco Unified Communications Manager Assistant User Guide』</li> </ul>
1つの内線を複数の電話機で使用する	<p>共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使用できます。</p>	<p>詳細については、<a href="#">共有回線</a>, (53 ページ) を参照してください。</p>
電話機やオフィス スペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。</li> <li>• コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。</li> <li>• 共有回線：同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。</li> <li>• Cisco エクステンション モビリティ：自分の電話番号とユーザプロファイルを共有の Cisco Unified IP Phone に適用できません。</li> </ul>	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">応用的なコール処理</a>, (47 ページ)</li> <li>• <a href="#">共有回線</a>, (53 ページ)</li> <li>• <a href="#">Cisco エクステンション モビリティ</a>, (62 ページ)</li> </ul>
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	<p>電話機の自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。</p>	<p>詳細については、<a href="#">ヘッドセットまたはスピーカフォンを使用した自動応答</a>, (72 ページ) を参照してください。</p>

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
ビデオ コールを発信する必要がある (SCCP 電話機のみ)	Cisco Unified Video Advantage の使用を検討します。この機能を使用すると、Cisco Unified IP Phone、コンピュータ、および外部のビデオカメラを使用してビデオコールを発信できます。	詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。また、『Cisco Unified Video Advantage Quick Start Guide』および『Cisco Unified Video Advantage User Guide』を参照してください。
電話機のスピードダイヤルボタン、履歴、またはディレクトリのリストと関連付けられた電話回線の状態を判断する	電話機のビジーランプフィールド (BLF) 機能を設定するように、管理者に依頼します。	詳細については、 <a href="#">ビジーランプフィールド機能</a> 、(56 ページ) を参照してください。
自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。	詳細については、 <a href="#">Cisco エクステンション モビリティ</a> 、(62 ページ) を参照してください。





# 第 10 章

## トラブルシューティング

この項では、ご使用の Cisco Unified IP Phone に関するトラブルシューティング情報を示します。

- [問題, 119 ページ](#)
- [電話機のトラブルシューティング データ, 123 ページ](#)
- [品質レポート ツール, 123 ページ](#)

### 問題

この項では、ご使用の電話機に関する一般的な問題のトラブルシューティングに役立つ情報を示します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

### ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを完了できない

#### 問題

ダイヤル トーンが聞こえないか、コールを完了できない。

#### 原因

次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。

- エクステンション モビリティ サービスに接続していない。
- 電話番号をダイヤルした後で、クライアント識別コード (CMC) または強制承認コード (FAC) を入力する必要がある (SCCP 電話機のみ)。
- 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できなくなっている。

#### ソリューション

次の手順を試してみてください。

- エクステンション モビリティ サービスにログインします。
- 電話番号をダイヤルした後で、CMC または FAC を入力します（SCCP 電話機のみ）。
- 特定の時間帯に一部の機能を使用できないようにしている時間帯制限を変更します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## ソフトキーが表示されない

### 問題

使用したいソフトキーが表示されない。

### 原因

次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。

- 別のソフトキーが表示されている。
- 回線の状態によって電話機のソフトキーが決まる。
- 電話機が、ソフトキーに関連付けられている機能をサポートするように設定されていない。

### ソリューション

次のいずれかのオプションを選択してください。

- [次へ] を押して追加のソフトキーを表示します。
- 回線の状態を変更します（オフフックにする、または接続コールにするなど）。
- この機能にアクセスするには、システム管理者にお問い合わせください。

## 割り込みが不可能で速いビジー音が聞こえる

### 問題

割り込みが失敗し、速いビジー音が聞こえる。

### 原因

使用している電話機に暗号化機能が設定されていない場合、暗号化済みコールには割り込みできません。この理由によって割り込みの試行が失敗すると、電話機で速いビジー音が聞こえます。



## 割り込み後のコールの切断

### 問題

割り込みを使用して参加したコールが切断される。

### 原因

割り込みを使用して参加したコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合は、そのコールから切断されます。

### ソリューション

コールに再度割り込みます。

## 折返しが使用できない

### 問題

折返しが失敗する。

### 原因

通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。

## すべてのコールの転送エラーメッセージ

### 問題

すべてのコールの転送を設定しようとすると、電話機にエラーメッセージが表示される。

### 原因

すべてのコールの転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、不在転送ループを招く転送先番号が入力された場合、または不在転送チェーンで許可された最大リンク数（最大ホップカウントとも呼ばれます）を超えることになる転送先番号が入力された場合です。

### ソリューション

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## 電話機が反応しない

### 問題

電話機のスクリーンに空白が表示され、表示ボタンが点灯しない。

### 原因

電話機は、節電のために電源オフ（スリープ中）になっています。

### ソリューション

電話機は、システムがウェイクアップメッセージを送信すると電源オン（復帰した状態）になります。スケジュールされた電源オン時間よりも前に電話機を復帰させることはできません。

## セキュリティ エラー メッセージ

### 問題

ご使用の電話機に「セキュリティエラー」と表示される。

### 原因

電話機のファームウェアが内部エラーを識別しました。

### ソリューション


メッセージが引き続き表示される場合は、システム管理者にお問い合わせください。

## 設定メニューにアクセスできない

### 問題

設定ボタンが反応しない。

### 原因

システム管理者が電話機で  を無効にしている可能性があります。

### ソリューション

システム管理者にお問い合わせください。

## 電話スクリーンが点灯しない

### 問題

どのような状況でも電話スクリーンが点灯しない。

### 原因






電話機で電話スクリーンの照明が無効になっている可能性があります。

### ソリューション

サポートが必要な場合は、システム管理者にお問い合わせください。

## 電話機のトラブルシューティング データ

システム管理者が、トラブルシューティングの目的で、電話機の管理データへのアクセスを指示する場合があります。

目的	操作
ネットワーク構成データにアクセスする	 > [ネットワークの設定] を選択し、表示するネットワーク設定の項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	 > [ステータス] を選択し、表示するステータスの項目を選択します。
電話機のモデル情報にアクセスする	 > [モデル情報] を選択します。
電話機のコールおよび音声品質情報にアクセスする	 > [ステータス] > [コール統計] を選択します。
データの送受信に関する VPN パフォーマンス情報にアクセスする	 > [ステータス] > [ネットワーク統計] を選択します。

## 品質レポート ツール

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、システム管理者により、電話機に品質レポートツール (QRT) が設定されることがあります。[QRT] または [品質レ

ポート ツール] を押して、システム管理者に情報を送信できます。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。



付録

# A

## 保証

---

- ・ シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定, 125 ページ

## シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com の次の URL で提供しています。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN\\_\\_.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN__.html)

